まちづくり協議会要覧

令和８年作成

久松地区

住みよい久松地区をつくる会

会　　長	平井　圭介	所在地	鳥取市東町三丁目 371-2
事務局長	木村　昭彦	TEL/FAX	0857-23-4148 / 0857-23-4180
設立年月日	平成 21 年 6 月 19 日	Mail	cc-kyusho@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	約 2,300 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.lg.jp/kyusho-1
組織構成	町内会長会、地区の各種団体でフラットな組織を構成 総務企画委員会、公民館管理運営委員会、公民館まつり実行委員会、事業調整会議		

地域コミュニティ計画　『久松地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 23 年 3 月 10 日
- 支援宣言　平成 23 年 7 月 21 日
- 目　標　「みんなで住みよい久松地区をつくろう」

1　生活と安全のまちづくり　2　健康と福祉のまちづくり　3　文化と教養のまちづくり　4　次世代を育成するまちづくり

◆ 地域の課題

久松地区は高齢化率が３０％を超えており、年々高まることが予想されています。６５歳を過ぎても働く人が増えたこともあり、町内会や地域の各種団体の役員を受ける人を見つけることが困難になってきています。また、高齢者が亡くなったあと空き家になることも多く、防犯や衛生面での影響がでることがある他、空き家がアパートやマンションに変わることも多く、その住人と地域とのつながりが希薄になってきています。

◆ 主な活動内容

事業①　久松山頂での『大』文字点灯（８月盆の３日間）・三階櫓（二ノ丸）石垣での文字点灯（１２月の５日間）

この事業は東日本大震災の発生をきっかけに、東日本大震災・鳥取大火・鳥取地震等で犠牲になった方へ鎮魂の意を表するために、「久松山を考える会」が中心となって実施しています。本年は事業開始から 16 年目になり、市民に広く認知されてきました。これからも継続していくことが大切だと思っています。

事業②　防災活動

自主防災力を高めるため、各町内自主防災会や防災リーダーと一層の連携を図りながら、地区の自主防災会活動を積極的に行っています。防災用品の充実、避難所開設のマニュアル作成を進め、公民館や小中学校を使用した実際の避難訓練を行うなどの活動に取り組んでいます。

また、災害発生時の水源確保のため、公民館敷地に災害対策井戸を設けています。

事業③　子ども達の健やかな育成事業

おやじの会、学校保護者会、子ども会、公民館が中心となって、子ども達が楽しく参加できる企画を多数実施しています。特に夏休み期間中に実施する「久松わくわく体験」は内容も多彩で人気の企画です。

◆ 今後の計画

令和７年度より一括交付金制度に移行しました。それに伴い、新制度のメリットを活かせるよう、住みよい久松地区をつくる会の体制や会則を全面的に見直しました。総務企画委員会を定期的に開催し、まちづくり事業と生涯学習事業が地区としてバランスの取れた企画になるよう調整を図っていきます。

「久松地区地域コミュニティ計画」を策定してから１５年間経過していることから、地域の実情や社会環境の変化を念頭において、適宜計画の見直しを行っていく予定です。

醇風地区

醇風地区まちづくり協議会

会　　長	丸山　博史	所在地	鳥取市西町五丁目 353-1
事務局長	―	TEL/FAX	0857-26-2568 / 0857-26-2572
設立年月日	平成 21 年 3 月 27 日	Mail	cc- jyunpu@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	2,800 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/junpu-1
組織構成	総務部、安全・安心・環境部、福祉・健康部、ふれあい・人づくり部		

地域コミュニティ計画　『醇風地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 22 年 8 月 27 日
- 支援宣言　平成 22 年 12 月 10 日
- 目　標　◎みんなが参加し、強い絆で結ばれるまちづくり　◎安全・安心で美しい環境のまちづくり
  ◎福祉と健康のまちづくり　◎豊かなふれあいと地域に誇りを持つ人づくり

◆ 地域の課題

かつては鹿野街道を中心とした賑やかな商業の町でしたが、大地震・大火災後は、静かな住宅地に変容し、現在は高齢化が進み、単身世帯の増加、孤独死、空き家問題が身近にある地域となっています。

◆ 主な活動内容

事業① 醇風夜ざくら道路

本協議会設立の翌々年から実施し、16 年目を迎えます。桜の開花に合わせて、地元保育園・幼稚園・小学校・地域の皆様の作品をボンボリにして、袋川桜土手に飾ります。同時開催：和紙あかり・切り絵作品のライトアップ、春のギャラリー

事業② 醇風ふれあいまつり

本協議会設立の年から実施し、18 年目を迎えます。作品展示、販売、くじ引き、子どもの遊びの各コーナーを設けて、多くの地域の子ども・大人で賑わい、地域の恒例行事として定着しています。

事業③ 防犯・あいさつ運動

安心・安全の地域をつくるため学校と協働して挨拶運動を行っています。電話詐欺の被害者にならないように広報活動を行います。

事業④ 醇風まちづくり検討委員会

持続可能なまちづくりを推進するまちづくり協議会のあり方等について検討する取り組みを進めます。



醇風夜ざくら道路

◆ 今後の計画

・近年、本協議会のメンバーの高齢化、組織・運営の硬直化、多様な個人・企業の参画がないことなどが指摘され、「地域の課題を見出し取り組む」という本来の会の目的が果たせていないとの意見が高まっていました。このため、三大事業の『醇風夜ざくら道路』、『醇風ふれあいまつり』、『防犯・あいさつ運動』を継続実施していきながら、新たな本協議会のあり方等について検討、事業の見直しに取り組んできました。

・これまでの検討結果を深めるため、引き続き、協議会を構成する各団体の代表者や地域の若者、女性に声掛けして協議会内に委員会を設置して、持続可能な地域づくりを推進する組織及び活動について協議し検討していきます。

遷喬地区

遷喬地区まちづくり協議会

会　　長	橋尾　泰博	所在地	鳥取市本町一丁目 109
事務局長	中島　憲啓	TEL/FAX	0857-27-8562 / 0857-27-8566
設立年月日	平成 21 年 9 月 29 日	Mail	cc-senkyo@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	626 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/senkyo-1
組織構成	お年寄りにやさしいまちづくり部、子どもにやさしいまちづくり部、にぎわいのあるまちづくり部		

地域コミュニティ計画　『遷喬地区コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 22 年 3 月 29 日（令和８年４月１日　第１６期計画　改訂）
- 支援宣言　平成 22 年 6 月 2 日
- 目　　標　遷喬地区まちづくり協議会・三部会の各事業に、地区住民のお年寄りから子どもまで参加し、ふれあいの中から元気で明るく笑顔のあふれるにぎわいのあるまちづくりに取り組む。

◆ 地域の課題

遷喬地区は高齢化率が高く、今後もさらに高まることが予想されています。年金支給開始年齢が引き上げられることに伴い、60 歳を超え 70 歳近くまで働く人が増えたこともあって、町内会や地域の各種団体の役員の選任が困難な状況となっています。また、まちづくり協議会や公民館などの行事への参加者数が減少し、参加者が固定化する傾向にあります。

さらに、マンションやアパート世帯の町内会への加入率は依然として低い上に、町内会から脱会する世帯もあることから、住民間のつながりが希薄になる傾向にあります。

◆ 主な活動内容

遷喬地区の課題は、「高齢者対策」「少子化対策」「まちのにぎわい対策」であり、この課題を三つの部会で整理しながら、事業計画を各部が策定して取り組んでいます。

○お年寄りにやさしいまちづくり部（部員８名）

お年寄りに配慮し、会話と見聞の楽しめる「まち中歩き事業」を年 4 回取り組みます。

○子どもにやさしいまちづくり部（部員１０名）

子どもと地区住民が実際にふれあうために、小学校児童の登校時に「あいさつ運動事業」を展開し、地区の大人と子どもたちとの関わり合いを強めることに取り組みます。（年２５日間）

○にぎわいのあるまちづくり部（部員１１名）

サマーフェスティバル等の交流イベント、「遷喬地区　味めぐり（スタンプラリー）」、さらに「お月見会（芋煮会）」を開催し、「遷喬地区にぎわいの創出事業」を継続して取り組みます。

○三部会の広報担当（各１～２名）　「遷喬まちづくり通信」を編集・発行します。

◆ 今後の計画

○お年寄りにやさしいまちづくり部は、まち中から市の郊外、他地区とのふれあい交流をするために、マイカーとバス利用も取り入れ、行動範囲を拡げ、目的地のガイドを地元の講師にお願いする内容と、くつろぎのある事業に取り組みます。

○子どもにやさしいまちづくり部は、朝のあいさつを中心に、地区の児童だけではなく、通勤・通学の方々にも声を掛け、笑顔あふれる明るいまちづくり事業に取り組みます。

○にぎわいのあるまちづくり部は、今年も地区の男女に呼びかけ、７月に「サマーフェスティバル遷喬（夏まつり）」を、９月に「お月見会（芋煮会）」を実施します。さらに食のイベントとして遷喬地区　味めぐり（スタンプラリー）を継続して取り組みます。

○広報担当は、年２回のまちづくり通信の発行を目標に、事業参加者の顔が見える編集に取り組みます。

修立地区

修立地区まちづくり協議会



エコクラブキャラクター

会　　長	石本　昭雄	所在地	鳥取市吉方町一丁目 201
事務局長	豊福　　聡	TEL/FAX	0857-26-5914 / 0857-26-5918
設立年月日	平成 22 年 3 月 6 日	Mail	cc-shuritsu@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,821（自治会加入 1,195）世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/shuritsu-1
組織構成	安全安心、健康な生活、福祉人権尊重、地域の特色、学校支援、もの・人づくりの6グループ構成		

地域コミュニティ計画　『修立地区まちづくり推進計画』

- ➤ 策定時期　平成 23 年 3 月 25 日　（令和8年4月第6次計画改訂）
- ➤ 支援宣言　平成 24 年 8 月 27 日
- ➤ 目　　標　「Well being 修立 安全安心笑顔でつながるまちづくり」


R 7 避難訓練

地域課題

1　世代間交流の充実⇒幅広い年代層の力を活用する工夫が必要。世代間の交流イベントを増やす必要。

2　防災体制の整備⇒災害時の避難体制が未整備、積雪時の防災体制が必要、自助共助の意識高揚必要。

3　地域資源の活用⇒地域人口が減少すると、地域資源の活用が難しくなる。団体の組織活動の活性化必要。

4　住みやすい環境づくり⇒地域の特色をつなぐ取組み必要。事業やボランティアへの参画意欲を高める工夫必要

令和8年度の活動方針と重点　➤ 第6次まちづくり推進計画（1年目）に基づいた事業の推進

① 多世代を対象にした**「フレイル予防」対策**⇒健康促進への取り組み

② 世代間の交流を意図した**ウォーキングや体操・運動**の工夫

③ 地域の人材を活用した教養講座**「修立学びの大楽（だいがく）」**の創設

④ **豊かな自然環境の保全**（天神川の桜、ホタル等）・整備（除草・植栽）


夜桜と行灯とスイセンのコラボ

＜まち協の新しい目標＞　合言葉 ： 人口減から人交増へ

Well-being 修立　安全 安心 笑顔でつながるまちづくり

組織構成



年間活動計画

4月	4/14 あんどん撤去作業
5月	5/1「やってみようで一」防災おやつリュックづくり 5/11 大人と子どもの将棋教室（毎月） 5/24 花いっぱい運動（植栽マス除草、花苗植え） 5/30 神戸バス研修
6月	6/6　エコクラブ結成式　6月中旬 学びの大楽① 6/27 団体交流研修会
7月	7月上旬 公民館奉仕作業　7月下旬 エコクラブ 7/28~29 真夏の大冒険宿泊体験
8月	8月上旬 夏休み工作　8月下旬 学びの大楽② 8月下旬 世代間交流事業
9月	9月下旬：花いっぱい運動、健康ウオーク 9/27 敬老会
10月	10月上旬 エコクラブ、10月下旬 学びの大楽③
11月	11/8 いも煮会　11月下旬 世代間交流事業
12月	12/5 公民館奉仕作業　12/6 一斉避難訓練 12 中旬 学びの大楽④、修立イルミネーション
1月	1月上旬 新年互礼会、1/10 とんど 1月下旬 手作りあんどん教室
2月	2月中旬：あんどん修理① 2月下旬：手作りあんどん教室②、エコクラブ
3月	3月下旬：あんどん取付

日進地区

日進地区まちづくり協議会

会　　長	入 江　峰 生	所在地	鳥取市吉方温泉一丁目 131
事務局長	佐 々 木　雅 人	TEL/FAX	0857-23-3960 / 0857-23-3963
設立年月日	平成 21 年 5 月 21 日	Mail	cc-nissin@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	2,813 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/nissin-1
組織構成	第１部会「にぎわいのあるまちづくり」 第２部会「暮らしやすいまちづくり」 第３部会「防犯防災対策が徹底しているまちづくり」 第４部会「健康を推進するまちづくり」 第５部会「総括広報」		

地域コミュニティ計画　『日進地区コミュニティまちづくり計画』

- 策定時期　平成 22 年 3 月 31 日（令和８年４月１９日 第２期計画改訂）
- 活動の理念　住民一人ひとりが町内や地区が抱える問題点を考え、共有して、それを解決するためにはどのような取り組みが必要か、また住みよいまちにするためにはどのようにしていくかなどについて話し合い、活動していく場をつくる。

◆ 地域の課題

日進地区は飲食店・一軒家・マンション・商業店舗・病院などが混在した地域です。また、近年は小学校の児童数の減少、住民の高齢化や空き家の増加が目立ちます。そのため、町内会や地域各種団体の役員も長年担っている方が多く、人材を見つけるのに苦労しています。ここ数年は、地域や町内会のイベントへの若い世代の参加も少しづつ増え始め、住民同士の関りや交流する機会も増えました。防災についても、地域での避難訓練等を通して対策をしています。夜の飲食店街もあるので、防犯面ではパトロール等を行い安全なまちづくりに取り組んでいます。

◆ 主な活動内容

事業①　第１部会「にぎわいのあるまちづくり」

☆**日進地区納涼祭（きんさい祭り）** 令和７年８月２日開催

内容：屋台販売、舞台イベント、ゲームコーナー、ものづくりコーナー、花火等

☆**クリスマスイルミネーションイベント** 令和７年１２月２０日開催

内容：公民館のイルミネーション装飾、ゲーム、クイズラリー、ものづくり、バルーンアートなど多彩なお楽しみコーナー

事業②　第３部会「防犯防災対策が徹底しているまちづくり」

☆**子どもの防災学習** 内容：避難リュックづくり、避難所ゲーム ☆**地区防災避難訓練** 内容：VR 体験等

事業③　第４部会「健康を推進するまちづくり」

☆**日進ふれあいウォークラリー**　内容：ウォーキングをしながら、グループ対抗でニュースポーツゲームを楽しむ

◆ 今後の計画

（１）にぎわいのあるまちづくり	・日進地区納涼祭（きんさい祭り）　・クリスマスイルミネーションイベント ・野外学習、県外視察研修、芸術文化施設見学　・生涯学習事業の開催 ・地域団体、日進連への支援事業　　他
（２）暮らしやすいまちづくり	・地区内の街並みを花で飾り維持　・地区内のごみを拾う美化活動　他
（３）防犯･防災対策が徹底しているまちづくり	・地区防災避難訓練、子どもの防災学習　・防災視察研修　・交通安全講習会 ・CS 活動（あいさつ運動）　・ひとり暮らし高齢者の見守りなど支援活動
（４）健康を推進するまちづくり	・日進小地区合同運動会　・ふれあいウォークラリー　・スポーツ体験、講演会
（５）協議会企画運営の実施	・総会・役員会・各部会開催　・ まちづくり情報誌発行　・公民館運営事業

明徳地区

元気で輝く明徳地区協議会

会　　長	望月　進	所在地	鳥取市行徳１丁目 210－2
事務局長	西山　佳夫	TEL/FAX	0857-23-0988 / 0857-23-0993
設立年月日	平成 21 年 8 月 24 日	Mail	cc-meitoku@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1733 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/nissin-1
組織構成	「福祉・人づくり専門部」「安全・安心専門部」 「健康・体育専門部」「文化伝承・環境美化専門部」		

地域コミュニティ計画　『明徳地区活性化計画書』

- 策定時期　平成 22 年 12 月 23 日（令和 8 年 4 月 1 日　第 4 期計画　改訂）
- 支援宣言　平成 23 年　7 月 21 日
- 基本理念　「心豊かで安全・安心な明徳地区」

◆ 地域の課題

明徳地区は、商業地区と住宅地区がまじりあい、アパートやマンションも多く、町内会未加入者の増加、定住者数の減少、さらに高齢化が進み、年々地区内人口が減少しつつあり、世代人口のバランスが取れていない。

また、高年齢になっても、働く方や町内会未加入者が増えなかなか地域貢献活動に参加して頂ける方が少なく、基本理念である「心豊かで安全・安心な明徳地区」を維持する為の、協力者の人集めに苦慮している。

◆ 主な活動内容

当地区は、今年度令和 8 年度より第 4 次活性化計画が始まり、4 つの専門部が設置され、この専門部を柱として以下の各種事業等を展開している。

＜専門部の活動＞

〇福祉・人づくり専門部

8 月 1 日(土)開催の納涼祭の運営など、地区住民の交流の場の提供、年間を通じて、他団体と連帯を図り福祉活動や人権問題に取り組んでいる。

〇安全・安心専門部

地区総合防災訓練を 10 月 4 日(日)に予定しており、小学校グラウンド及び体育館を会場に放水訓練後、災害発生時の対応を想定した訓練又は講演会等を実施、また年間をとして防災講演会等を行っている。

他団体と連帯を図り、交通安全啓発の推進や、いつ起こるかわからない災害等に備えている。

〇健康・体育専門部

地区住民の健康増進を図るため 9 月 20 日(日)に体育会が主体となり、明徳地区住民と明徳小学校合同の運動会の実施予定、他にも健康づくり推進委員及び体育会を中心に年間を通しイベントを開催、地域住民の健康維持に努める。

〇文化伝承・環境美化専門部

10 月 18 日〈日〉開催予定の文化祭の運営とともに、年間を通して地域にある文化財の学習、花壇整備の実施、地域の環境について啓発活動などの推進をしている。

◆ 今後の計画

令和 8 年度より第 4 次活性化計画が始まり、4 つの専門部を中心に、協議会、各種団体、組織・住民が協力しながら地域活動の充実・強化を図る。

（1）出会い、ふれあい、絆を大切にしたより良い人間関係を作るとともに、地域ぐるみで青少年の育成と高齢者福祉の充実、人権教育等の推進を図る。（明徳小学校卒業後でも地域活動に参加して頂く為の、めいとくメンバーズの促進等）

（2）住民が住み続けたいと思う地域の環境整備を促進し伝承文化を大切にしながら、地域と学校との連携を図る。

（3）健康で明るい地域づくりを目指し、住民が気軽に参加できるイベントなどを推進する。

（4）災害に強い地域づくりを目指すとともに、災害時における高齢者への支援体制を促進する。

富桑地区

富桑まちづくり協議会

会　　長	西川　秋夫	所在地	鳥取市行徳三丁目 705
事務局長	西川　照夫	TEL/FAX	0857-27-4585 / 0857-27-4589
設立年月日	平成 21 年 3 月 17 日	Mail	cc-fuso@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	854 世帯	HP	http://fuso-web.sakura.ne.jp/
組織構成	総務企画委員会、防災安全部、人権福祉部、体育健康部		

地域コミュニティ計画　『富桑まちづくり計画』

- 策定時期　平成 21 年 12 月 25 日策定（平成 22 年 1 月 27 日改訂）
- 支援宣言　平成 22 年 2 月 12 日
- 基本方針　1996 年 6 月に制定された「富桑地区人権宣言」の趣意に基づき、「～交流・共感・共生～」の社会実現をめざし、地域の身近な課題解決に向けて全住民が結束する。
- 目　　標　「交流、共感、共生のまち」
  1 健康でぬくもりのある優しいまち　2 歴史と文化を大切にするまち
  3 人権を尊重し、弱い立場の人を大切にするまち　4 安全で安心のまち

◆ 地域の課題

・若年層世帯の増加に伴う、町内会未加入者の増加
・新旧住民（若年層と高齢者世帯）の交流希薄化
・地域活動（各種団体・まち協）の担い手不足と、ボランティア高齢化に伴う後継者育成

◆ 主な活動内容

2025 年度通常総会　5 月 9 日（金）開催
第 48 回地区大運動会開催 5 月 24 日（土）雨天中止
富桑地区ＧＧ大会　6 月 7 日（土）20 チーム 60 名
富桑地区人権講演会　8 月 23 日（土）講師　坂根政代さん
第 21 回富桑地区大文化祭　10 月 18 日（土）～19 日（日）開催
富桑小学校子ども相撲大会　10 月 24 日（金）の支援
富桑地区防災訓練　11 月 16 日（日）140 名
富桑地区健康講演会　12 月 13 日（土）17 名
各種団体新春懇話会　1 月 11 日（日）開催　出席者 43 名
まちづくりだより第 18 号の発行　3 月 25 日（水）配布（20 頁・オールカラー）

◆ 今後の計画

2026 年度通常総会　5 月 8 日（金）
第 49 回地区大運動会　5 月 23 日（土）
第 30 回富桑地区グラウンドゴルフ大会の開催　6 月 6 日（土）
第 22 回富桑地区大文化祭　10 月 24 日（土）～25 日（日）
富桑地区合同避難訓練　11 月 15 日（日）
富桑地区人権講演会　12 月 5 日（土）
富桑地区新春懇話会　令和 9 年 1 月 10 日（日）
広報紙「まちづくりだより」 令和 9 年 3 月発行
富桑小学校子ども相撲大会の支援
防犯・交通安全・子ども見守り隊（不審者対策）の支援

城北地区

城北まちづくり協議会

会　　長	吉 野 恭 介	所在地	鳥取市青葉町三丁目 121-1
事務局長	山 岡 正 博	TEL/FAX	0857-26-3997 / 0857-26-4018
設立年月日	平成 21 年 1 月 23 日	Mail	cc-jyohoku @it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	3,565 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/johoku-1
組織構成	会長 1 名、副会長 3 名(3 部会)、事務局 4 名、会計 1 名、監事 2 名、委員 45 名		

地域コミュニティ計画 『城北まちづくり いきいきプラン』

➢ 策定時期　平成 22 年 3 月 3 1 日　　➢ 支援宣言　平成 22 年 6 月 2 日

➢ 目　　標　元気で、楽しく、心地よく、住んで良かったと実感できる城北へ！

◆ 地域の課題

◎ワンマン・トップダウン(上意下達)型の取組み ⇒ 皆で創造的協議し、挑戦する取組みへ。

◎協議会は事業を主催する団体ではなく『各団体のつなぎ役（協議会）』に役割変更していくスタートの年とする。

◎主な課題

①地域の担い手育成・若手の参加促進

②コミュニケーション、集いの場所

③町内会加入率の向上

◆ 主な活動内容

事業①『専門部会の体制見直し』（5 部会⇒３部会へ）

・総務・広報事業部会　⇒ 総務・広報部会

・福祉・健康事業部会
環境・安全事業部会
文化・交流事業部会　⇒ コミュニティ部会

・公民会運営委員会　⇒ 公民館運営委員会

事業②『総務・広報部会が実施する事業活動』

- 城北いこいの家運営費拠出（無償譲渡検討）
- ホームページ管理費拠出
- 共助トラック維持管理
- 視察研修（コミュニティ啓発の研修や講演会の実施）
- 行政との協働
- 女性の自治会活動への参画
- 「いきいきプラン」の見直し、改定の進捗管理
- 災害の強いまちづくり事業活動の検討（新規事業）

事業③『コミュニティ部会が実施する事業活動』

- あいさつ運動（幟旗設置、小学校の挨拶運動）
- マルシェ＆市社協
- 日置地区との交流（活動内容の見直し）
- ケヤキ通りクリーン活動
- 地域の伝統行事、芸能への支援
- 子ども会やＰＴＡ保護者との意見交換会の開催
- 若手の会の創設および意見交換会の開催
- デジタル活用方策検討会
- 町内会を超えた交流会の企画
- 気楽に集まれる居場所づくりの推進

事業④『まちづくり協議会が支援する事業活動』

- 集団検診および結果説明会（「健推」主催へ）
- 健康啓発チラシの作成（「健推」主催へ）
- こうほうえんコラボ研修会（「社福・健推」主催へ）
- 子どもと大人の交流会（ボッチャ大会、「体育会」主催へ）
- 城北グランドゴルフ大会（「体育会」主催へ）

◆ 今後の計画

・各事業にチームリーダを定め、創造的な議論を重ね世代交代も意識しながら形を創っていく

中ノ郷地区

中ノ郷ふるさとづくり協議会

会　　長	福浜　隆宏	所在地	鳥取市覚寺 118
事務局長	矢部　敏昭	TEL/FAX	0857-21-5393 / 0857-21-5409
設立年月日	平成 21 年 1 月 22 日	Mail	cc-nakanogo@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	約 1,500 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/nakago-1
組織構成	総務広報部会、伝統文化部会、環境美化部会、健康福祉部会、世代交流部会		

地域コミュニティ計画　『中ノ郷地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 21 年 7 月 27 日
- 支援宣言　平成 21 年 12 月 24 日
- 目　　標　「地域の自然や文化に誇りをもち、人と地区への強い絆づくり事業を通じて安心・安全なまちづくり」
  ①伝統文化の継承・発展　②健康・福祉の充実　③世代間交流の推進　④環境美化・自主防災の強化

◆ 地域の課題

・住民の高齢化や独居老人の増加等に伴い、孤食や社会参加の機会の確保に支障が生じてきていること。
・充実した地域活動を実施する上で必要な人材である町内会加入率が低下傾向にあり危惧されること。
・自主防災を強化し、自主避難所運営の在り方、防災育成支援や防災・消防訓練等を一層充実すること。

事業１　各種団体の事業及び主な事業の改善と充実



地区住民の主体的で協働的な参画を進めるとともに充実した地域活動を一層推進するため、ふるさと協議会の組織再編を行い、持続可能な事業への転換を図る。また、孤食や社会参加の機会を確保するために、高齢者や子どもを含めた幅広い世代を対象とした地域食堂の開設に向けた検討を進める。さらに、ふるさと協議会、自治連合会及び地区公民館の三者の連携を強化し、各種事業の一層の充実を図る。

事業２　地域の歴史や文化遺産の伝承



「さいとりさし」「獅子舞」「中ノ郷音頭」など地域に伝わる伝統芸能の継承に取り組むとともに、中ノ郷地区運動会やしゃんしゃん祭、納涼まつり、敬老会、中ノ郷まつり等の機会を利用して、広く市民や地域住民に対してそれらの伝統芸能を発表していく。

事業３　防災意識の向上と地域防災対策

今年度の基本方針は、各自主防災会相互間及び関係機関団体との連携を密にして、防災意識の高揚を図り、災害発生時における被害の防止、軽減を図ることである。具体的な活動としては、中ノ郷地区自主防災会連絡協議会作成の「中ノ郷地区ハザードマップ」を活用し、防災訓練や各町内会の講習会に活用する。また、各町内会毎の地理的状況に応じた危険度を再確認するとともに、洪水浸水・土砂災害・地震への備えなどを計画する。さらに、昨年実施した中ノ郷地区防災フエスティバルについて内容を検討し、地域に応じた展示や催しを企画して実施する予定である。

◆ 今後の計画

○三者の関係をより機能的で実質的なものにするために、中ノ郷ふるさとづくり協議会の組織再編及び規約の加筆・修正に着手する。また、このことは年間を通して各種事業の企画及び実施に向けた諸会議の効率化が見通せ、役員や委員等の負担軽減につながるものと考える。
○古くから地域に伝わる伝統芸能の継承活動などを通じて、住民が地域のよさを感得し地域を愛する心情の醸成に努める。
○住民の防災意識の助及び共助の意識をさらに高めていく。

稲葉山地区

稲葉山地区まちづくり協議会

会　　長	新　潤一	所在地	鳥取市卯垣五丁目 57
事務局長	宮武　乃	TEL/FAX	0857-24-2542 / 0857-24-2546
設立年月日	平成 21 年 11 月 17 日	Mail	cc-inabayama@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,329 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/inaba-1
組織構成	生涯学習部、防災防犯部、福祉健康部、地区行事振興部、総務広報部		

地域コミュニティ計画　『稲葉山地区まちづくり計画』

- 策定時期　平成 23 年 6 月 10 日（令和 8 年 4 月 1 1 日改定）
- 支援宣言　平成 23 年 7 月 21 日
- 目　　標　鳥取市との協働により住民主体のまちづくりを推進し、地域住民が互いに支えあいながら、「明るく・住みよい・活力ある稲葉山」の実現を目指し、地域課題の解決および地域福祉の向上に寄与する。

◆ 地域の課題

過去 10 年間で町内会への加入世帯数が約 200 軒減少し、高齢化も進行していることから、町内会役員および各種団体の後継者不足が深刻な課題となっている。今後、地域をどのように活性化していくかが大きな課題である。

また、小学校や地区公民館といった施設の老朽化も、同様に解決すべき重要な問題となっている。稲葉山地区には 20 の町内会があるが、そのうち 2 町内会では公民館が老朽化し、6 町内会には公民館自体が存在しない。まちづくりの拠点となる町内会公民館が十分に整備されていない現状は、地域活動の推進や住民同士の交流を妨げる障害となっている。

今後は、各町内会の施設整備を進めることで、住民がより安心して暮らせる環境づくりを図ることが求められている。

◆ 主な活動内容

事業①：地区 3 大事業の実施

「地区運動会」、「地区敬老会」、「ふれあい・文化・じげ祭り」を実施。

幼稚園児、小学校児童、中学校生徒も参加し、中学校生徒はボランティアとしても活動している。

事業②：生涯学習事業

各種団体と連携を深めながら、自主防災、人権啓発、社会福祉、健康づくり、交通安全、青少年の健全育成などに積極的に取り組む。

事業③：賑わいづくり事業

「にぎわい・ふれあい」をテーマに、米作り体験（小学生と合同）、野菜作り、グラウンドゴルフ、ウォーキングなどの事業の実施。また、新規事業として若い世代が企画する「（仮題）レッツパーティー」を実施予定。

◆ 今後の計画

① 令和 8 年度から一括交付金制度の導入するにあたり、コミュニティ計画と会則の見直しを行った。今後は、計画を実施しつつ、計画および会則の継続的な見直しを検討する。

② 今年度は、新規事業を計画している。来年度につなげられるよう、計画の実施と振り返りを行う。

岩倉地区

岩倉地区まちづくり協議会

会　　長	太田　満明	所在地	鳥取市立川町六丁目 174
事務局長	中嶋　幸枝	TEL/FAX	0857-22-5621 / 0857-22-5673
設立年月日	平成 20 年 12 月 12 日	Mail	cc-iwakura@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,901 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/iwa-1
組織構成	総務・広報部、防災・防犯部、健康福祉部、生涯学習部、環境美化部		

地域コミュニティ計画　『岩倉地区まちづくりプラン 2010』

- 策定時期　平成 22 年 5 月 31 日
- 支援宣言　平成 22 年 7 月 15 日
- 目　　標　1 福祉・防災・安全の充実　2 地域住民交流の発展　3 伝統文化の継承・発展

◆ 地域の課題

高齢化は自然なことなので、出来ることが大事だと思う中、各種団体・町内会の役員においても、新しい取り組みが必要である。住民同士の交流が大切である。地区の行事等に参加していただけるよう、声かけ・広報に取り組む必要性を感じる。

◆ 主な活動内容

（１）福祉、防災・安全の充実のための活動

○岩倉小学校児童の登下校の安全確保（保護者や地域のボランティアによる見守り活動）

○防災研修会の実施（起震車体験、避難訓練他）

○ふれあいグラウンド・ゴルフ大会の実施（町内会、各種団体で交流を深める）

○ふれあいデイサービスの実施（健康チェック、健康体操、講演会、高齢者家庭への配食と安全見守り活動）

○世代間交流事業（岩倉小学校児童と高齢者交流）

（２）地域住民交流のための活動

○文化祭の実施（作品展示、芸能発表等）

○ふれあいもちつき大会の実施（臼・杵・せいろでのもちつき体験、地域住民の交流）

○岩倉の歴史を拓く講座(６回/年　有識者を講師に迎えて岩倉の魅力を深掘りする)

〇サマーフェスティバルの実施（鳥大生・地域住民の交流）

◆ 今後の計画

（１）岩倉小学校児童の登下校の際のボランティアによる見守り活動（毎日）
（２）相談型子ども食堂（不定期）
（３）岩倉ふれあいグラウンド・ゴルフ大会（令和８年６月２０日）
（４）地域の防災・防犯活動として、各種団体による青パトの巡回（週２～３回）
（５）世代間交流事業（令和８年６月２９日　岩倉小学校体育館）
（６）高齢者対象のふれあいデイサービス（年４回程度）
（７）サマーフェスティバル　謎解き迷路（令和８年８月１１日）
（８）防災研修会（令和８年９月２７日　岩倉小学校体育館）
（９）健康ウォーキング（令和８年１０月３日）
（10）岩倉の歴史を拡く講座（年６回）
（11）文化祭（令和８年 10 月１８日　岩倉地区公民館・体育館）
（12）ふれあいもちつき大会（令和８年１１月１５日　岩倉地区公民館）

美保地区

美保まちづくり協議会

会　　長	田 中 良 憲	所在地	鳥取市吉成二丁目 5-22
事務局長	但 住 辰 雄	TEL/FAX	0857-26-3981 / 0857-26-4002
設立年月日	平成 21 年 3 月 25 日	Mail	cc-mihoa@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	5,417 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/miho-1
組織構成	—		

地域コミュニティ計画　『美保まちづくり計画』

- 策定時期　平成 21 年 11 月 26 日
- 支援宣言　平成 21 年 12 月 24 日
- 目　　標　ふれあい豊かな住みよい美保

◆ 地域の課題

高齢化が進む一方で小学校の生徒も概して５００人と老若の人々が暮らす地域です。持続可能な地域にしていくためにも世代間の交流は不可欠なものとなっています。これには２５町内会と自治会の密接な関係つくり、そして各種団体・ボランティアグループ・学校等との連携強化がキーポイントと言えます。しかし、現状として町内会活動を担う役員の輪番制を敷く町内会の増加から町内活動の有効性や課題の継承が不十分であることは否めません。

経験、知識の継承と情報、アイデアの収集から新しい施策を試み、「安心・安全な地域と豊かなからだとこころの美保」を目指していかなければいけません。

◆ 主な活動内容

事業①「防災のまちづくり」の取り組み

本地区は、千代川、大路川、山白川、新袋川等の河川に囲まれ、水害リスクの高い地域です。そのため、地域の活動の最重要課題は「防災」となっています。

平成２７年度には美保地区の防災マップ（「大雨に備えて」）を作成し、全戸に配布して防災意識の涵養に役立てました。その結果、防災マップを活用した町内会の防災訓練が活発になってきました。最近では避難スィッチに取り組む町内会もあります。

水害リスクの高い地域特性に対する住民の意識格差があり、それをどう埋めていくかが今後の課題と言えます。

事業②「健康寿命を延ばす」取り組み

健康や長寿への取り組みは地域社会の持続性の点でも重要な課題だと考えています。認知症予防や寝たきりにならない生活を創造するために、啓発活動に取り組むとともに、e-スポーツを取り入れたクラブ・サークルの活動や異世代間交流活動に取り組むことにしています。

◆ 今後の計画

これまで実施してきた地区の大きな行事がマンネリ化しないよう、内容の充実を図りながら「美保まちづくり計画」に掲げる「ふれあい豊かな美保」の実現に取り組むこととしています。

今後は、地域の地形的な特性を考慮して、水害や地震を想定した訓練に力を入れたいと考えています。特に、公民館活動とも連携しながら災害図上訓練を行い、地域住民の防災意識の高揚を図りたいと考えています。

今後さらに、「地域づくりは人づくり」の視点から人材養成にも努めながら誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

美保南地区

美保南まちづくり協議会

会　　長	西尾　義昭	所在地	鳥取市叶 286
事務局長	清水　秀満	TEL/FAX	0857-53-4798 / 0857-53-4809
設立年月日	平成 20 年 12 月 13 日	Mail	cc-mihominami@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,８４３世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/minami-1
組織構成	地域防災力向上委員会、まちづくり計画見直し検討委員会		

地域コミュニティ計画　『美保南まちづくり計画』

- 策定時期　平成 22 年 5 月 23 日
- 支援宣言　平成 22 年 7 月 15 日
- 目　　標　住みよい・魅力ある美保南をめざして

◆ 地域の課題

美保南地区は古くから水害に見舞われた地域であり、近年、記録的な集中豪雨が頻発する中で豪雨災害等に対応できる地域防災力の向上が必要となっています。また、市街化に伴って若者世代が増える中で、地区行事などに若い世代の参画が少ないなど地域のつながりが希薄になっており、安心・安全で住みよい魅力あるまちづくりを進めるためには、「つながり」、「支え合う」共生社会を実現することが必要となっている。

◆ 主な活動内容

コロナを契機に町内会や各種団体の活動が低下するなど、人と人とのコミュニケーションの希薄に伴う地域力（組織力）低下とともに孤立化や孤食等も問題となってきており、令和７年度も地域の「つながり」と「支え合い」をテーマに各種取組を展開することとしています。

（１）安全・安心なまちづくり

災害時に速やかに対応できるよう、自主防災組織の強化に向けた人材(防災リーダー)の育成と資機材の整備を行うとともに普段から災害に対する心構えを知っていただくため、防災訓練等を通して住民の防災意識の向上に取り組んでいます。

防犯面においては、日々子どもたちが安全に登下校できるよう子ども見守り隊(南っ子まもるんじゃー)を結成して、子どもを地域で見守る活動を行っています。また、日本郵便株式会社の協力で配達・営業中における見守り活動も行っていただいています。

（２）福祉のまちづくりの推進

訪問や食事サービスなど様々な機会をとらえ１人暮らし世帯への声掛けを積極的に行うとともに、孤立化や孤独・孤食の解消を図るため、地域の大人から子供が集まってコミュニケーションができる地域の居場所として「みんなの食堂」を開設している。

（３）こどもを育むまちづくりの推進

地域の将来を担う子ども達に自らの人生を切り開いていくための資質・能力を身につけてもらうため、学校・家庭・地域が連携して取り組む体制づくりを進めており、子どもの居場所づくり」として、「やってみよう day」や小学生を対象とした学習などのサポートを行う「夏休みサマースクール」を開催し、地域・学校・若者(大学生)と一緒につくるまちづくりを進めています。

（４）協働のまちづくりの推進

協働のまちづくりの推進には、地域コミュニティの形成が不可欠であり、毎年地区４大行事（運動会・納涼祭・敬老祭・文化祭）の開催の他、学校を核とした地域づくりを進めるため、地域と小学校との連携の強化と交流を図っています。

◆ 今後の計画

「つなぐ・つながる 美保南」をテーマに①地域防災力の向上、②防犯活動の推進、③健康と福祉のまちづくり、④学校と地域の連携、⑤地域コミュニティの推進に係る取組を進めてまいります。また、地域の困りごと等を解決していくため、「高齢者」や「子育て」に関して行ったアンケートを結果に基づき、取組が必要と考えられるものについては対応を検討する。

「南風プロジェクト(南中)」、「地域調査プロジェクト(鳥大)」等の若者と連携したまちづくりを進める。

面影地区

面影地区まちづくり運営協議会

会　　長	竹 間　 洋	所在地	鳥取市桜谷 162-6
事務局長	森本　美也子	TEL/FAX	0857-24-9033 / 0857-24-9066
設立年月日	平成 21 年 4 月 1 日	Mail	cc-omokage@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,８６８世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/omokage-1
組織構成	総務部、環境美化部、人権防災安全部、健康福祉部、生涯学習部		

地域コミュニティ計画　『面影地区地域コミュニティ計画 ver.2』

- 策定時期　平成 22 年 6 月 17 日　　支援宣言　平成 22 年 12 月 10 日
  （令和 7 年 2 月 1 2 日　第 2 期計画　改訂）
- 目　　標　「魅力ある住みよい明るいまち面影」を目指して
  1.地域文化の振興と地域コミュニティの充実したまちづくり
  2.住みよい環境づくりと面影山の自然・歴史を活かしたまちづくり
  3.人権に配慮した安心・安全なまちづくり
  4.生涯スポーツの推奨と地域福祉の充実したまちづくり
  5.子どもから高齢者までが学び・つながるまちづくり

◆ 地域の課題

1　地域住民の高齢化と少子化が進んでいる。
2　役員人事等、町内会（15 町内会）の運営が困難。各種団体についても同様の状況が見られる。
3　コロナ禍で落ちた地域全体の連帯意識がなかなか戻ってこない。
4　面影山の歴史及び地域行事の伝承等の意識が低い。

◆ 主な活動内容

事業①　面影山を活用した事業と環境整備

地域のシンボルである面影山は歴史と史跡の宝庫であり、この資源を消失させることなく保全・継承していくことが重要である。そのために環境整備を行いまちづくりの様々な活動に活かしていく。特に今年度は、東屋の修繕とその周辺の整備を計画しており、より多くの方が登ってみたいと思う山としていきたい。

事業②　地区行事の開催

子どもから高齢者まで誰もが楽しめ、交流を深めれるような大きな行事を地区をあげて開催する。今年は、夏まつりと文化祭、はじめてのボーリング大会を開催し、豊かな心と友情を育み、まちづくりの意識高揚に努めていく。

事業③　地域情報の適時的確な発信

地域活動に対する詳細な情報の提供を望む声が多くあり、適時・的確な情報の提供に努める。広報紙、ホームページ、インスタグラムを活用して情報発信に努める。今年度から、経費削減のためＡ３版の広報紙をA4 版のフルカラーに変更し、紙面に載せれる情報が減ることを隔月発行していたネット広報誌を毎月発行していくことで補うこととした。

◆ 今後の計画

昨年度から一括交付金制度を導入し、５つの部会ごとに事業計画をたて、事業を実施する形とした。部会ごとにそれなりに事業を実施することができたが、部会間の連携等まだまだ課題もみえてきたので改善していきたい。

面影山の環境整備には、多額の資金が必要であり、昨年に引き続き今年度も「とっとり県民参加の森づくり推進事業」の補助金を受けれることが決まったので、それらを活用して順次進めていく予定である。

倉田地区

倉田地区まちづくり協議会

会　　長	坂本　正光	所在地	鳥取市八坂 365-2
事務局長	竹内　英則	TEL/FAX	0857-53-2259 / 0857-53-2269
設立年月日	平成 21 年 1 月 19 日	Mail	cc-kurata@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	579 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/kurata-1
組織構成	総務部、福祉部、保安部、同協部、体育部、公民館部の６部体制		

地域コミュニティ計画　『倉田地区コミュニティ計画』

- 策定時期　平成２６年６月２５日　　支援宣言　平成２６年９月２５日
- 目　　標　１：ふれあい豊かなまちづくり　　２：健やかにいきいき暮らせるまちづくり
  ３：環境にやさしい美しいまちづくり　　４：安心で安全なまちづくり
  ５：文化をはぐくむ人権尊重のまちづくり

◆ 地域の課題

他地域と同様に倉田地区でも地域の高齢化が課題となっています。一人暮らしの家庭も増加しており、老々介護の問題、地域での見守りなどの社会福祉の面で重要性が増しています。また、町内会、地域の各種団体の役員を受ける人を見つけることが困難になっています。世代間の溝が深まり、コミュニケーションが取りづらくなっています。

◆ 主な活動内容

地域づくりは、昭和４３年に結成された自治会を母体として、総務部（区長会）、福祉部、保安部（消防・交通安全協会）、同協部、体育部、公民館部の６部が連携した活動を進めています。

特に教育面では、全戸組織の教育後援会、安全ボランティア活動、公民館を中心に学校週５日制に伴う行事を実施しています。地域の各種行事に積極的な参加を促し、行事を通して、地域の伝統文化や人と人との繋がりを大切にする世代間交流を図るなど、次世代を担う子どもたちの育成に努めています。また、文化面では、毎年倉田地区文化祭を開催して、地域住民の参加とともに保育園、小学校、中学校からも作品の出展があり、みんなの文化祭となっています。地域内には多くの郷土芸能が伝承されており、積極的な参加促進や、文化財の保存の意識の向上等の文化振興、さらに安全安心対策として、交通安全活動・消防団活動・不法投棄監視活動と自主防災活動です。

各種事業を通じて、各団体が一丸となり、住民の積極的参加で人と人との繋がりの大切さを原点に、協働のまちづくりに取り組んでいます。

◆ 今後の計画

（１）学校と地域が一体となって、子どもたちの健全育成に努めます。
（２）社会福祉を充実し、独居老人への食事サービス・声かけ等により明るい地域づくりを図ります。
（３）自主防災会の組織強化を図り、安全・安心のまちづくりに努めます。
（４）集落内の道路、河川の一斉清掃を実施し、地域の自然と保護に努めます。
（５）ゴミの不法投棄パトロールを徹底し、ポイ捨て・大型ゴミの不法投棄撲滅を目指します。
（６）倉田地区にはスポーツ広場・バードスタジアムがあり、年間１５万人の方をお迎えしており、特に防犯・環境美化に地区を挙げて、気持ちよく楽しんでいただけるように取り組んでいます。

神戸地区

かんど地域づくり協議会

会　　長	有田　知弘	所在地	鳥取市下砂見 752-1
事務局長	上田　秀美	TEL/FAX	0857-55-0001 / 0857-55-0008
設立年月日	平成 21 年 3 月 24 日	Mail	cc-kando@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	２０３世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/kando-1
組織構成	―		

地域コミュニティ計画　『神戸地区コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 22 年 3 月 31 日
- 支援宣言　平成 22 年 6 月 2 日
- 目　　標　1.活力のある地域づくりをめざす　2.安心・安全な地域づくりをめざす　3.みんなで支え合う福祉の地域づくりをめざす　4.生活環境の整備をめざす　5.明日を担う人づくりをめざす　6.美しいふるさとづくりをめざす

◆ 地域の課題

神戸地区は東西に約 10 キロの細長い地域に７集落が点在する、少子化・高齢化の典型的な山間地区です。小学校の閉校・路線バスから、代替タクシーへの変更・人口減少など、地区全体が静かになりました。

賑わいを取り戻すには、地域づくり協議会を中心とした、各種団体の活動の強化と、イベントや奉仕活動開催等による地区全体の一体感を作り出すことが大切です。

◆ 主な活動内容

○ 例年「かんど夕涼み会」「地区運動会」「かんど冬の祭典」を開催し、地区民同士の親睦と一体化を進めて来ました。

○ 公民館まつりを開催し、公民館事業で取り組んだ小学生の作品や、一般による自信作多数の展示を行いました。
また、地域の農産物を展示するなど和気あいあいの交流を図りました。

○ 公民館周辺の、さくら山やせせらぎ公園等の清掃や除草を行い美化活動を行っています。
さくら山整備事業では、桜の苗木の下刈り作業とトリノス神戸（旧小学校跡）の美化を行いました。

○ 地区における活動状況を記載した「かんど地域づくり協議会」広報誌を発行する等広報活動に努めています。

◆ 今後の計画

（１）活力ある地域づくり
「かんど夕涼み会」「地区運動会」は小学校閉校に伴い、地区民主体の催事に方向転換を図ります。
「かんど冬の祭典」を開催し、地域の結束を図ります。

（２）安心・安全な地域づくり
大型化する自然災害に備えた対策と防災意識の向上に努めます。

（３）支え合う福祉の地域づくり
独居老人への声かけ運動や社会活動参加を支援します。 集落単位での健康推進運動を行います。

（４）生活環境の整備
区長会を中心に道路や河川等の環境整備を進めます。

（５）江山学園の子供たちとの交流を深め、地域を愛する人づくりをめざします。

（６）美しいふるさとづくり
トリノス神戸（旧小学校跡）・さくら山整備事業・せせらぎ公園整備事業の取り組みを継続します。

大和地区

大和地区まちづくり協議会

会　　長	森田　松雄	所在地	鳥取市倭文 76-1
事務局長	石 川　　一 郎	TEL/FAX	0857-53-0404　/ 0857-53-0417
設立年月日	平成 20 年 11 月 29 日	Mail	cc-yamato@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	228 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/yamato-1

地域コミュニティ計画　『大和地域づくり事業計画』

- 策定時期　平成 22 年 12 月 13 日（令和 6 年 4 月 1 日　第 4 期計画　改訂）
- 支援宣言　平成 23 年 7 月 21 日
- 目　　標　地域のつながりを大切にしたまなびの成果を生かした地域共生社会づくり
  （生涯学習の推進による人づくり、健康づくり、安心・安全なまちづくり、環境整備した美しいまちづくり）

◆ 地域の課題

大和地区は高齢化と過疎化が年々進み、高齢者のみの世帯や空き家が増加してきている。高齢化のみならず、若者の地域への興味関心が低く、地域行事への参加率も下がってきている。また、各種団体の役員のなり手が見つからず、役員の固定化、役員の重複と団体の存続が危ぶまれる状態でもある。少子高齢化の中で、地域を住みよくするためにまなびを中心とした人づくりと安心安全な住みよいまちづくりで小中学生も含めた若者をいかに地域と結びつけるかが、地区及び集落の存続課題であり、まちづくり協議会の課題である。

◆ 主な活動内容

事業①生涯学習の推進による人づくり

歴史文化教室、ものづくり教室、パソコン教室、料理教室等公民館が担ってきた生涯学習事業で地区住民が交流を深めながらそれぞれが生きがいのある人生を送ることが出来るよう場を設定する。

事業②人権と福祉のまちづくり

人権視察研修や人権研修会や講演会、小地域座談会を行い、あらゆる差別をなくし、住民同士が関わり合いながらそれぞれを認め合い、誰もが笑顔で暮らせるまちづくりを目指す。また、長年社会に貢献してきた高齢者に敬老会祝賀会を通じて感謝の意を伝え祝うと共に、高齢者を対象とした事業を設けることによって、高齢者の外出を促し、地域社会とのつながりを深めることで、健康増進や社会参加を促進します。

事業③安心安全なまちづくり

頻発する災害に備えるために避難訓練、防災フェスタを行い避難所での体験や防災グッズの紹介をして、各家庭で災害に備えるよう働きかけるとともに、災害が発生しても適正な判断や行動ができるようにする。また、特殊詐欺等の被害にあわないための防犯教室や交通事故から身を守るために交通安全運動、小学生の付き添い登校を行う

◆ 今後の計画

公民館が行っていた生涯学習の推進を図るとともに、各種団体が個々に行っていた事業を各種団体が連携し縦断的横断的に行うことによって、多くの参加者を増やし、活動の活性化と充実を図る。異世代交流の事業を展開し、若者の地域活動への参加を促すことによって、若者が地域の担い手となるように図る。

・生涯学習コミュニティー部：生涯学習の推進
・健康福祉部：Ｅ－スポーツの導入・普及
・安心安全部：避難所での備品の配備
・大和ふれあいタクシー部：住民の通院や買い物等生活のための移動手段を支援するために運行範囲の拡大をもとめる

美穂地区

美穂まちづくり協議会

会　　長	坂本　美俊	所在地	鳥取市朝月 22
事務局長	田中　多恵子	TEL/FAX	0857-53-0173 / 0857-53-0246
設立年月日	平成 21 年 6 月 27 日	Mail	cc-mihob@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	776 世帯 1605 名	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/mihob-1
組織構成	総合企画部、安全・安心部、子育て・教育部、健康・福祉部、農業・環境部		

地域コミュニティ計画　『美穂まちづくり計画』

- 策定時期　平成 23 年 3 月 31 日
- 支援宣言　平成 23 年 7 月 21 日
- 目　　標　お互いが助け合い、活力ある地域づくり
  安全で安心で事故、災害に強い地域づくり
  いつもニコニコ、ピンピンと元気な地域づくり
  老いも若きも健康づくりで生き生きと
  いつまでもふるさとの風景を美しく

◆ 地域の課題

★組織基盤の見直し

結成以降 17 年以上経過した中で高齢化の進行と住民の減少、人・環境・事業等変化していることから、当初理念は尊重しながらも、役員の構成人数確保、組織基盤となる女性の拡充、見直しが必要

◆ 主な活動内容

○納涼集う会（目的：全世代が気軽に集い、活力ある地域づくりをめざして）

美穂地区に暮らす老いも若きも誰もが集う中で、相互理解が深まり「地域は一つ」と言う機運が醸成されていくことを願い「納涼集う会」を実施して 9 回目となりました。まちづくり協議会「総合企画部」が中心となり「安全安心部」「子育て教育部」「健康福祉部」「農業環境部」「地区住民ボランティア」が協力し運営しています。今後も集いふれあいを深めることでボランティア活動へと発展、さらには地域の活性化につながることを願い継続していくことが必要だと考えています。

○カフェサロンの充実（目的：高齢者の引きこもり防止、地区の活性化）※毎週水曜日・第２第４土曜日

カフェサロンに集うことで、地区に暮らす誰もがお互い顔見知りになり、気軽に話せる間柄になれば繋がりが深まり、お互いに隣人を気遣い、見守り・声かけ等ができ、その輪が広がることを目指しています。また、地域の特性を生かし農産物等の 100 円均一販売などを行い、どなたでも気軽にご来場いただけるよう、拡充を目指し事業を行っています。

○未来ある子どもの健全育成事業　（目的：安心して過ごせる居場所づくりをめざして）

将来を担ってくれる子ども達の健全育成のために“夏休みは一日中仲間と過ごそう「わんぱく塾」”を実施、午前は静かに勉強会で始まり、ものづくりを実施、お昼は自分流弁当作り、午後はおやつづくり、ニュースポーツ体験で汗を流し解散です。

春休みは“みんなでひな祭りを楽しもう”を実施し、ひな祭りケーキづくり、お菓子作りを行いました。更に恒例の地区元旦マラソン、さつま芋の苗植えと秋の芋ほり収穫、グランドゴルフ大会に参加して世代間交流を図ります。

今後の計画

◆活性化事業（広報活動＜広報誌・通信の発行＞・カフェサロンの広がり＜談話室にサロンの継続＞）
◆世代間交流事業（地区住民集う会・文化祭）
◆健全育成事業（わんぱく塾の開催)(地域で楽しむ会＜クリスマス会・ひな祭り＞）（出前子ども食堂の実施）
◆健康づくり事業（ウォーキング大会及び食を楽しむ会）(地区住民対象の健康相談と健康講座）（ふれあい GG）
◆防災事業（地区防災講演会＜特殊詐欺被害防止について＞・防災リーダーの養成・救急救命講習)
◆美化事業（通学路、遊休農地の草刈・不法投棄巡回パトロール・集う会、文化祭に協力）（注意喚起看板の設置）

多数の参加をしていただくよう今後もそれぞれの計画に取り組んでいきたいと考えています。

大正地区

ほっと大正まちづくり協議会

会　　長	橋 本 誠 一	所在地	鳥取市古海 556
事務局長	加 柴 茂	TEL/FAX	0857-26-3982 / 0857-26-3985
設立年月日	平成 21 年 5 月 9 日	Mail	cc- taisho@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	2,454 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/taisho-1
組織構成	会長他役員、地区内 25 団体・グループ、2 小学校、1 中学校、1 こども園、古海駐在所		

地域コミュニティ計画　『大正地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 22 年 5 月 25 日
- 支援宣言　平成 22 年 7 月 15 日
- 目　　標

1　ほっと大正まちづくり協議会は、「安全安心で住みよいまちづくり」を推進します

2　地域住民の協力・共助の精神を高め、地域の一体化を図り団結力を強固にするとともに、甚大な自然災害の被災に備えた地域防災力の向上を主眼としています

◆ 地域の課題

新興住宅街に町内会が結成されないため、大正地区 2,454 世帯の約 7 割が自治連合会に加入しておらず、また、大正小学校に通学する児童の大半が町内会の無い新興住宅街の居住者のため、公民館だよりや運動会、夏まつり等、地区行事の案内や防災情報を区長や町内会長を通じて配布・共有することが困難な状況となっている

更に、住民の高齢化により町内会の役員選任が難しいとの理由で、町内会を解散されるケースも発生し、近隣住民間の付き合いの疎遠化が顕著に進んでいる

◆ 主な活動内容

1. ほっと大正まちづくり協議会は「顔なじみを増やそう」を活動のテーマとして運動会・夏まつり・スポーツ交流会等の事業に取り組んでおり、町内会未組織の地域やそこに住む子どもたちを、積極的に地区行事に巻き込んだ活動となることを目指しています
2. 地域コミュニティ促進支援活動は、町内会未組織地域も対象にして、夏休み期間中に納涼祭等を企画実施していただき、これにまち協が活動経費を助成するものです
3. 大正地区総合防災訓練には、特に各町内会の高齢者に参加を呼びかけ、炊き出し訓練の延長として昼食を共に摂ることなどで、顔なじみを増やし、お互いが見守り合える地域を目指しています
4. 地域情報や地域活動情報の発信・共有化を、「大正地区全世帯」を対象に行うため次の 3 点を行っています
   - 町内会、各種団体、小学校、公民館主催事業等を“投稿写真”で構成し、「ほっと大正かわら版」として、全世帯に配布
   - 「大正ほっと LINE」というスマホの LINE グループで地域情報・防災情報等を発信し情報交流を促進
   - 大正小学校通学の全家庭に、学校を通じて大正地区行事の案内や公民館だより等を配布

◆ 今後の計画

- 若い共働夫婦の家庭と、高齢者のみの世帯という二極化が進む中で、安全安心で住みよい地域づくりのため、ご近所の「つながりづくり」を推進する必要があると考えています。→世代間・地域間交流事業「大正あおぞら市」の開催
- 大規模災害発生時の避難所開設運営の中心となる方は、運動会や夏まつり、公民館まつりといった地区のお祭りで「顔なじみ」になり、共に汗を流した人たちです。最も有効な防災訓練だと言われる「地区のお祭り行事」を、地区全体で取り組めるように各地区に働きかけをします。
- 地域の活動は、町内会づくりが原点となることに立ち返り、町内会加入率を現在の３３％から６０％に高める運動を区長会、自主防災会、社会福祉協議会等各種団体と協力して開始します。

東郷地区

東郷地区むらづくり協議会

会　　長	森本　敏彦	所在地	鳥取市西今在家 207
事務局長	河田　恒儀	TEL/FAX	0857-53-0456 / 0857-53-0906
設立年月日	平成 21 年 3 月 15 日	Mail	cc-togo@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	267 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/togo-1
組織構成	むらづくり計画部会、安心安全部会、ふるさと文化伝承部会、生活環境部会		

地域コミュニティ計画　『東郷地区むらづくり計画』

- 策定時期　平成 22 年 3 月 31 日
- 支援宣言　平成 22 年 7 月 15 日
- 目　　標　「強い（防災力）地域づくり」「希望や活気あるむらづくり」「必要とされるむらづくり」

◆ 地域の課題

〇東郷地区は各集落とも人口減少と高齢化が進み、集落や地域の団体などの役員候補が少なくなってきている。
〇近年の気象状況の変化により、自然災害（山崩れ、河川氾濫等）のリスクが高まっていることから、防災体制の点検整備が必要。
〇地区の人口増の取り組み、若者が住みたいと思えるような取り組みを推進する。

◆ 主な活動内容

① 地区をあげての事業

にぎわいを取り戻すべく事業として位置付け、地区内の各種団体、小学校、保育園、地区の方々との連携のもと、より新しいアイデアを盛り込みながら、子ども達をはじめ地域みんなに楽しんでもらえるよう地区をあげて取り組みました。運動会(5/31)、夏まつり(7/26)、文化祭(11/2)、ピザ作り体験会(11/4)、もちつき大会(12/13)、恵方巻き作り(1/31)を実施。

② 専門部会事業

〇むらづくり計画部会…地区をあげての事業に関する打合せ、東郷小学校 150 周年記念事業との共同開催等
〇安心・安全部会…地区文化祭で「炊き出し訓練」（おにぎり作り体験）を実施。
〇ふるさと文化伝承部会…地区文化祭で「東郷の歴とお宝再発見」講演会実施。「荒神谷若宮」の看板設置。
〇生活環境部会…子ども達との世代間交流を目指し「ピザ作り体験会」を実施。身体・心・食の健康をテーマとしたセミナーを実施。

※各専門部会では、まず一歩を踏み出すことを大切に、諸課題の検討を随時行っています。

、今後の計画

我が東郷地区に於いても間違いなく少子高齢化の波は押し寄せており、中でも少子化については顕著な状況にあります。東郷小学校の全校児童数は今や 23 人で、数年後には全校児童数が 10 人を割り込んでしまう現実があります。

東郷地区の主な事業は、東郷小学校の児童に参加してもらえる事が前提で、各事業内容が構成されております、そのことを踏まえると今後の各種事業の内容を各種団体と協議し再構築する必要性があると認識し、検討を進めていきたいと考えております。

また、東郷地区むらづくり協議会と公民館運営委員会との組織一体化を実現に向けて、「自分たちは、東郷地区でどういう暮らしをしていきたいのか」を常に話し合い、地域で目指す東郷地区を実現するための方向性を確認しながら進めていきたいと考えています。そして、地区を挙げての事業や、４つの専門部会（むらづくり部会、安心・安全部会、ふるさと文化伝承部会、生活環境部会）での事業について、それぞれの中で前年度を振り返りながら、まずできることから着実に取り組んでいく予定です。

豊実地区

豊実まちづくり協議会

会　　長	花田　均	所在地	鳥取市野坂 950
事務局長	加藤　修	TEL/FAX	0857-24-0604 / 0857-24-0622
設立年月日	平成 20 年 12 月 20 日	Mail	cc-toyomi@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	280 世帯	HP	http://www.toyomi.info
組織構成	総務・広報、安全・防災・防犯、健康・福祉、生涯学習・人権、環境美化		

地域コミュニティ計画　『豊実まちづくり計画』

- 策定時期　平成 23 年 3 月 14 日
- 支援宣言　平成 23 年 7 月 21 日
- 目　　標　緑豊かで活気に満ち、魅力ある住みよいまち豊実

◆ 地域の課題

豊実地区は、高齢化及び定年後の就業率も年々高まり、町内会や各種団体の役員確保が非常に困難な状況で役員が固定化しており、活性化する為にも世代交代が必要となっている。

住民と地域との繋がりが希薄になってきており、若人世代も参画し繋がりを深める地区行事に多数参加していただくよう声かけと広報活動が必要となっています。

◆ 主な活動内容

緑豊かで魅力ある住みよいまち豊実の願いのもとに、５つの専門部会で計画し、実践、実現につなげています。

〇総務・広報　：広報誌等の発行、イベントの計画、多目的工房管理、地区まつり
〇安全・防災・防犯　：防災フェスタ、防災訓練、避難訓練、研修会等開催
〇健康・福祉　：地区運動会、地区まつり健康づくりイベント等開催、認知症等健康講演会開催、高齢者福祉研修会、敬老会事業、オレンジカフェ
〇生涯学習・人権　：高齢者サポーター養成講座、人権研修会、講演会開催、世代間交流の集い協力
〇環境美化　：豊実グラウンド整備、豊実花いっぱい運動事業、環境美化事業開催

◆ 今後の計画

感染症防止を心掛けながら各種事業を実施していきたいと思います。また、令和２年より行っている誹謗・中傷をなくし、平和を支援する「シトラスリボン」の運動を続けたいと思います。

・各集落の自主防災会が防災リーダー養成に取り組む等、組織の強化と地区内の危険個所の共通の認識・対応など災害に強い地域づくりを進める。
・地域の歴史的遺産・伝統・文化に対する理解を深めるマップなどの作成とウォーキング大会を行い、ふるさとを見つめる機会をつくる。
・地域住民が気楽にボランティア活動やサロン活動で交流を深めながら、事業に参加できる機会や場所を増やし、人づくり・つながりづくり・地域づくりに努める。

地域住民との絆を深め、自治会や各種団体との連携を取りながら、活動を進めていきます。

明治地区

明治郷づくり協議会

会　　長	加 藤 秀 俊	所在地	鳥取市松上 167-1
事務局長	竹 内 泰 二	TEL/FAX	0857-56-0005 / 0857-56-0011
設立年月日	平成 21 年 1 月 24 日	Mail	cc-meiji@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	304 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/meiji-1
組織構成	○総会　○役員会　○総務会　○4 専門部会（●生涯学習コミュニティ部　●健康福祉人権部　●安心安全部　●自然環境地域活性化部）		

地域コミュニティ計画　『明治地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 22 年 3 月 20 日（平成 31 年 4 月 21 日　第 2 期計画 改訂）
- 支援宣言　平成 22 年 6 月 1 日
- 目　　標　郷づくり協議会のコンセプトは『人づくり ・ 地域づくり』
- ○一人ひとりに密着した活力ある地域づくり
  ○健康・福祉と人権尊重の地域づくり
  ○安心安全な地域づくり
  ○自然環境と特色を活かした地域づくり

◆ 地域の課題

360°GreenView。明治地区は山々に囲まれ、市街地から１０ｋｍ以上離れている。人口減少と、少子高齢化が進み、地域の産業である農業が衰退し、伝統文化の継承が難しくなり、人々の交流が希薄化してきている。また、地区の住民が望まない大規模な自然改変を伴う山地開発事業の話がある。

豊かな自然を守りつつ、地域のアイデンティティを高め、交流を活発化し、地域の活力を高めることが求められている。

◆ 主な活動内容

事業①　地域産業の振興と住民の交流を目的に「軽トラマルシェ」を月 1 回、年間 7 回開催。また地域の食材を使った創作料理や山野草茶で交流を図る「地域食堂」を実施。

事業②　地域住民の健康づくりと交流を目標とした「ボウリング大会」や「第一回　ボッチャ大会」の開催。

事業③　風力発電建設課題に向けた学習会の開催。

事業④「コスモスロード」を地域全体で実施。

◆ 今後の計画

「明治郷づくり協議会」はそれぞれの４部会で、住民が事業を企画し、『地域づくり』をテーマに、自然や歴史、人材、材料を活かした交流事業に取り組み、地域の活性化をすすめる。

また、地区区長会総会に基づき、令和２年度から引継いでいる「風力発電建設」の課題解決に関わる事業をする。

松保地区

松保地域づくり協議会

会　　長	竹内　房男	所在地	鳥取市布勢 543-3
事務局長	中本　貴美	TEL/FAX	0857-28-1192 / 0857-28-1267
設立年月日	平成 21 年 5 月 14 日	Mail	cc-matsuho@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,００６世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/matuho-1
組織構成	総務・広報部、生活・安全部、福祉部、体育部、生涯学習部		

地域コミュニティ計画　『松保地区コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 21 年 12 月 8 日
- 支援宣言　平成 22 年 2 月 12 日
- 目　　標　地域に誇りを持ち、皆が相互に支え合い活力ある安全・安心な地域づくりをめざす

◆ 地域の課題

松保地区における地域課題として、①地域住民の急速な高齢化問題②地域の歴史や文化の継承問題③災害時に備えた地域の防災力の強化、などがある。このような地域課題解決に向け以下のような事業に取り組んだ。

◆ 主な活動内容

事業①：健康増進や健康づくりに資する健康講座の開催

長寿社会に備え、地域の高齢者を対象に、訪問看護ステーションはまゆうの訪問看護認定看護師を講師に迎えて「気を付けようその症状」と題した講演会を行った。講演会では、感染性胃腸炎・誤嚥性肺炎・コロナ・インフルエンザ・帯状疱疹など様々な感染症の症状や対応策、予防法などについて丁寧な説明を受けた。参加者は、感染症について学び、早期発見と早期治療、そしてなにより予防が大切だということを再認識した。

事業②：松保歴史講演会の実施

松保地区には、「青島遺跡」や「桂見遺跡」など数多くの遺跡があり、中でも桂見遺跡からは約３５００年前（縄文時代後期）の日本最大級の丸木舟がほぼ完全な形で出土するなど全国的にも貴重な遺物が発掘されている。しかし、多くの地域住民は、そのことについてよく知らないのが現状で、地域課題のひとつとなっている。そこで、鳥取県立博物館の主任学芸員を講師に「湖山池周辺の縄文遺跡について」という歴史講演会を開催し、地域の歴史についての理解を深めた。当日は、縄文土器の展示などもあり、参加者からは、「このような地域の宝を大切に守っていかなければならないと感じた」などの声が聞かれた。

事業③：松保地区避難訓練を実施

「鳥取市で震度５の地震が発生した」との想定で、各町内ごとに避難訓練を行った。訓練の流れとしては、午前９時に屋外スピーカーによる地震発生の放送を合図に始まり、その後各町内会の危険個所、避難所、避難経路などの確認を行い、避難困難者の把握やその誘導方法などを確認した。訓練終了後、携帯電話の連絡方法・震災火災への対応策・避難所の安全確認・避難時の近隣住民への声掛け等について、改善点が浮き彫りになった。有事に備え、訓練は繰り返し行うことが重要。問題点を改め次回の訓練に活かしていきたい。

◆ 今後の計画

引き続き地域防災力の向上や福祉活動の推進、伝統文化の継承など地域課題の解決に向けて地域住民や各種団体と連携・協力しながら活動をしていく。また、地域コミュニティの維持・再生に向けて「ふれあい運動会」などの事業も開催していく。

○総務・広報部：①まちづくり先進地視察研修（９月）②広報紙「かがやき」年１回発行（３月）
○生活・安全部：①松保地区防災訓練（１０月）
○福祉部　　：①福祉研修会（５月～１１月）②くつろぎカフェ（毎月２回程度）
○体育部　　：①「ふれあい運動会」（１０月）
○生涯学習部：①松保歴史講演会（１０月）②人権講演会（１１月）③パフォーマンス発表会（３月）

湖南地区

湖南地区まちづくり協議会

会　　長	林　喜久治	所在地	鳥取市吉岡温泉町 894-14
事務局長	西浦　日出夫	TEL/FAX	0857-54-0804　/ 0857-54-0811
設立年月日	平成 21 年 5 月 8 日	Mail	cc-konan@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	５６１世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/konan-1
組織構成	活性化委員会、安全安心委員会、環境福祉委員会、歴史文化委員会 つながり委員会、記録保存委員会、広報委員会、湖南学園のあり方を考える会		

地域コミュニティ計画　『湖南地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 22 年 2 月 15 日（令和４年３月　第２次計画改訂）
- 支援宣言　平成 22 年 6 月 1 日
- 目　　標　人とひとがつながり　生き生きとした　ぬくもりのある湖南

◆ 地域の課題

「過疎・少子高齢化」が進み、地域組織の担い手不足に伴い、事業の在り方が従来通り出来なくなってきている。若年層も参画しやすい組織、事業の再編、再考をし、地域の活性化を図る必要がある。また、高齢化に伴い、移動手段が難しい人が増えており、公共交通、共助交通等の交通インフラの整備が必要である。また、空き家も増え対応も難しくなっている。そのために、世代間交流や地域間交流を推進し「地域コミュニティ」を深めていく必要がある。

◆ 主な活動内容

令和３年度に策定した「第２次湖南地区コミュニティ計画」に沿って事業を展開している

１．活性化委員会　　地域の「湖南まつり」の開催と「こなん文化祭」への参画及び金沢公園のあじさい園管理
２．安全安心委員会　登下校時の見守り活動及び地区防災活動への協賛
３．環境福祉委員会　地域課題（空き家、独居等）、地区美化運動、旧中利活用の検討
４．歴史文化委員会　年２回の湖南ウォークの開催及び「つづらお合戦」を題材としたデジタル紙芝居の制作
５．つながり委員会　SNS を使っての情報発信、まつり・文化祭への参画
６．記録保存委員会　地域行事・名所の撮影及び保存・整理、湖南まつり・文化祭への参画
７．広報委員会　まち協インスタグラムの活用促進及びまち協ホームページの開設
８．「湖南学園のあり方を考える会」をまち協の委員会とし、地区と学園の将来を見据えて研修をしていく
９．こなん文化祭実行委員会を立ち上げ、各団体が創意工夫して 11 月 14 日（土）に文化祭を開催

その他、自治会（まち協）の活動を、毎月の地区公民館のお知らせの中に「自治会通信」を設けたり、年度末に「こなんだより」で地区民に広報する。

◆ 今後の計画

まちづくり協議会の大きな事業として、全世代が関わる「湖南まつり」「こなん文化祭」を実施し地域の活性化を図る。

委員会の活動として、登下校の見守り活動や防犯パトロール等で安全安心なまちづくりを進める。

年２回の湖南ウォークで地域の歴史遺産を訪ねる。地域に伝わる「つづらお合戦」をデジタル紙芝居を作成する。地域の現状や文化的行事等を記録・保存・整理すし継承していく。また、地域の情報や魅力を発信する手立てとしてインスタグラムやホームページの積極的活用を図り、紙媒体と併用し、全世代に情報提供をする。

安全・安心、共助の面から、地域課題を検討し、人材確保に努めたり、自治会、自主防災会と連携し、防災関連事業の推進に努めたりする。

末恒地区

神話の郷末恒 まちづくり協議会

会　　長	山本　孝久	所在地	鳥取市伏野 1986-32
事務局長	山本　英世	TEL/FAX	0857-59-1147 / 0857-59-1150
設立年月日	平成 20 年 8 月 30 日	Mail	cc-suetsune@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	2,428 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/suetsune-1
組織構成	幹事会・全体協議会		

地域コミュニティ計画　『末恒のまちづくり計画』

- 策定時期　平成 24 年 1 月 28 日　（平成 27 年 5 月計画改訂）
- 支援宣言　平成 24 年 8 月 27 日
- 目　　標　～魅力ある末恒のまちづくりを目指して～
  1）安心・安全なまちづくり
  2）健康福祉と人権尊重のまちづくり
  3）人と人がふれあえる活力のあるまちづくり
  4）快適で住みよく環境にやさしいまちづくり
  5）自然環境や観光資源を活かしたふるさと再発見のまちづくり

◆ 地域の課題

末恒地区としても少子高齢化の大きな波が押し寄せており、町内会や各種団体等の役員のなり手が少なくなり、会や団体自体の存続が危ぶまれる状況にあります。しかし、毎年実施している事業内容の見直しや、組織の再編を行うなど、地域住民に参画しやすい組織づくりを進めながら、これまで以上に地域住民に寄り添った組織として活動していきたい。

また、地域課題の解決や地域の進むべき方向性を感じながら、末恒地区の将来を担える人材育成を進めるとともに、防災の拠点としての機能を保ちながら、住民主体の地域づくりを実践していきたい。

◆ 主な活動内容

事業①：地区大運動会・地区文化祭の実施

運動会は競争や勝負に焦点を置くのではなく、だれもが気楽に参加でき、参加した全員が楽しめる運動会でありたいと考え実施しています。今後もこのコンセプトを大切にし、新しい末恒スタイルの運動会を確立して行きたいと考えます。文化祭は多数の模擬店や催事、また教養講座を中心とした作品展示や芸能発表等日ごろの公民館でのサークル活動の成果を披露していただいたりして、大変な賑わいです。

事業②：自主防災活動の充実

本年度は鳥取市が毎年 9 月 10 日に実施する総合防災訓練が、末恒小学校をメイン会場に行われることから、地域住民に防災をより強く感じていただく良い機会と捉え、地区自主防災会連絡会もこの訓練に参加し、取り組みをレベルアップしたい。

事業③：地域学校協働活動

小学校と連携して、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」につながる事業を展開しています。特に「わくわく交流ひろば」は、学校・家庭・地域がつながりあい、温かい目で子どもたちの成長を見守る取り組みとして 20 年目を迎えました。令和 4 年度に設置された「学校カフェ」では、活動の拠点として活用が進み、多くのボランティアが生き生きと活動しています。またこの活動を通して最近感じることは、子どもたちの方から地域に近づいてきている感覚さえ覚えます。

◆ 今後の計画

地域の 3 大事業を「地区運動会」「地区文化祭」「地区防災関連事業」と定め、年間を通して地域住民の交流促進や協力体制づくりを進めています。長年の取り組みの成果で、地域住民による運営体制が整備されつつあるので、更に地域の活性化につなげていきたい、と考えています。

また、「地域学校協働活動」も地域づくりの拠点として、さらなる内容の充実とボランティアの拡充に努めたいと思っています。

賀露地区

賀露町自治会

会　　長	芥 島 寿 美	所在地	鳥取市賀露町南五丁目 1718-3
事務局長	美川　裕教	TEL/FAX	0857-50-0456 / 0857-50-0460
設立年月日	平成 21 年 9 月 13 日	Mail	karojichi@circus.ocn.ne.jp
世 帯 数	2,121 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/karo-1
組織構成	総務、みんなで住みよいまちを考えるグループ、みんなの元気を考えるグループ、 みんなの幸せを考えるグループ、みんなで「たくましい賀露健児」を育てるグループ		

地域コミュニティ計画　『賀露地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成２６年３月１日
- 支援宣言　平成２６年５月２１日
- 目　　標　～みんなでまちづくり～
  健康で明るく魅力あふれる「まちづくり」を目指す賀露

◆ 地域の課題

昔から住居がある賀露地区は、住民の高齢化が進み町内会運営が難しく、新興住宅地区との差があり、元気のあるまちづくりに問題が生じています。特に小学生がいない町内会もある次第です。町内会編成も考えてみますがなかなか大変です。

また、車の入らない賀露地区の一部では空き家が増えており、倒壊の恐れがある住居も多くあることから、町内会としても対策を考える時期にきています。

◆ 主な活動内容

賀露地区を「健康で明るく魅力あふれるまち」にするため、平成２６年３月策定の「賀露地区コミュニティ計画」の基本方針に基づき下記７項目に取り組みました。

1．「住みよいまちを考える」グループでは、毎年賀露海水浴場・湖山川を町民みんなで清掃を実施し、県内外の人たちに楽しい思い出づくりとなる環境を提供しています。
2．「元気を考える」グループでは、世代間交流としてニュースポーツとカレー・サンドウィッチづくりを実施し、運動と食育の推進交流事業を展開しました。
3．「幸せを考える」グループでは、教養講座を開催し、若者から年配まで地域みんなで勉強に励みました。また、人権等の屋外教養講座も開催しました。
4．たくましい賀露健児を育てる活動として、「冒険基地」と題し、木工、料理等を講師とともに楽しむ会を年３回開催しました。また、夏休みにキャンプファイヤーを実施し、小学生親子で楽しい夜を過ごしています。
5．地域の魅力づくりとして、年末に賀露かにっこ館前にイルミネーションを装飾し、なごみの場づくりを行いました。
6．賀露のまちづくりや活性化を目指して、アダプト活動として市道沿いの草刈りを全町内会が参加し清掃しています。また、ボランティアの会による小学校奉仕作業等が行われました。今までの公民館祭を自治会主導の校区民文化祭とし規模を拡大して、たくさんの住民に楽しんでもらっています。
7．まちづくり協議会の活動を町民に広く理解してもらうため機関紙「かろ便り」の発行を行い。後生に賀露を知ってもらう為に年１回「賀露広報」を発行しています。

◆ 今後の計画

自治会主導の「新組織体制」に移行し、今後この組織体を円滑に運営していきます。
運営に、良い部分・悪い部分を見つけ出し、よりよい「まちづくり協議会」として進める事を目標とします。

湖山地区

湖山地区自治会

会　　長	山 下 恭 史	所在地	鳥取市湖山町北一丁目 202-1
事務局長	杉 谷 一 司	TEL/FAX	0857-28-1017 / 0857-28-1119
設立年月日	平成 21 年 10 月 28 日	Mail	ｋｏｙａｍａｊｂｂ＠ｇｍａｉｌ．ｃｏｍ
世 帯 数	1,367 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/koyama-1
組織構成	21 町内会長、11 構成団体長、5 公募委員		

地域コミュニティ計画　『湖山地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 23 年 12 月 25 日（平成２４年８月計画改訂）
- 支援宣言　平成 23 年 7 月 21 日
- 目　　標　1 歴史・文化のまち霞の里づくり　2 健康で安全な福祉のまちづくり
  3 生活基盤の充実　4 美しい景観のまちづくり　5 活力ある地域コミュニティの推進

◆ 地域の課題

近年の社会情勢や意識、行動の多様化等により自治会、町内会への加入率の低下とともに、活動が十分に行えない状況となっている。このような実態を考慮し、将来的にも活動が継続できるよう組織や活動のあり方を見直してきている。

自治会が取り組むべきもの、自治会が取り組んだ方がより効果的と思われる事項に優先順位をつけ、各町内会、団体と意思疎通を図りながら諸課題に取り組み、地域力の向上をめざしていきたい。

◆ 主な活動内容

1. 町区長アンケートとそれに基づく意見交換会

a. 町区長アンケートによる実態把握
b. 町区長との意見交換会による課題の認識と支援
c. 自治会への要望、意見の吸収

2. 各団体との意見交換会の実施による情報交換と要望、意見等の共有

3. 広報誌のタイムリーな発行

4. 校区全体の交流行事の検討

5. 地域の主要行事

a. 文化祭	b. 敬老会	c. 人権講演会、座談会
d. 地区民交流事業	e. 四季の交通安全運動	f. 自主防災、防犯活動
g. 健康ウォーク	h. ありこまち(高齢者喫茶)	g.しゃんしゃん体操

◆ 今後の計画

a. 町区長との意見交換会における課題の解決に向けた活動
b. 構成団体との意見交換による地区全体活動のベクトル合わせ
c. 地域防災力の向上
d. 会則の全面改訂

湖山西地区

湖山西まちづくり協議会

会　　長	太 田　 寛	所在地	鳥取市湖山町西一丁目 512
事務局長	木 下 俊 児	TEL/FAX	0857-31-3581 / 0857-31-3582
設立年月日	平成 20 年 11 月 9 日	Mail	cc-koyamanishi @it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	１，２２６世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/nisi-1
組織構成	人づくり人権交流部会、健康福祉部会、安心安全環境部会		

地域コミュニティ計画　『湖山西地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 21 年 10 月 4 日　（平成 27 年 4 月 19 日　第２期計画　改訂）
- 支援宣言　平成 21 年 12 月 24 日
- キャッチフレーズ　「安心して暮らせるまち　住んでよかったと誇れるまち」

◆ 地域の課題

湖山西地区は、学生を含む若い世代や第三次就労者が多く、高齢化率や持ち家率はかなり低いという特徴があります。また、外国人登録数も多く、多様性に富む文教・国際交流エリアです。活気がある反面、町内会加入率は低く、年々低下傾向にあり、町内会や地区の各種団体の役員の成り手不足が深刻で、円滑な自治活動の維持が難しくなってきています。

◆ 主な活動内容

「湖山西地区地域コミュニティ計画」に基づき、毎年重点的に実施する事業を設定して、組織ぐるみの取り組みを推進し、所期の目標達成を目指し活動しています。令和４年度より、一括交付金制度を取り入れ、公民館との組織・予算の一本化により、効率化を図りました。また、事業についても下記の３つの部会を設け、部会ごとに事業を実施しています。

事業①　人づくり人権交流部会事業

人づくり人権交流部会のメイン事業は、『湖山西ワクワクまつり』（地区文化祭）で、地域文化の向上と住民交流の場として、毎年開催しています。また、子ども向けの事業も多く開催しており、次代を担う子どもが主役の地域文化の推進として、毎年『湖山西っ子のつどい』を開催し、地域ぐるみで子ども達を育む風土づくりを推進しています。

事業②　健康福祉部会事業

健康福祉部会のメイン事業は、『湖山西校区町民運動会』と『湖山西地区敬老会』です。健康系の事業には参加者も多く、ウォーキングやニュースポーツなどのほか、高齢者向け事業も数多く開催しています。

事業③　安心安全環境部会事業

環境美化活動として、湖山池北岸一帯の草刈り作業を毎年２回行っています。湖岸に面した遊歩道脇の「湖山池フラワーロード」に花苗を植えています。また、様々な啓発講演会や『地区防災訓練』も開催しています。

◆ 今後の計画

まちづくりの営みは、一過性の活動で終わらせるのではなく、「あせらず、止まらず、一歩一歩」を行動理念とし、より多くの住民参加を目指す活動へと発展させていくことが大切であると考えています。

持続可能な地域づくりを進めるために、地域組織のあり方について検討を進め、特に、自治会組織や活動内容のスリム化を図るとともに、町内会加入率の向上と、地域の未来を担う後継者の発掘・育成を図っていきたいと考えています。

また、若い世代や大学生にも、地域の一員として地域活動に参画してもらえるよう、事業内容や情報発信を工夫すること、住民同士のつながりの拡大と地域の特性である多様性を踏まえた「協働のまちづくり」を推進していきたいと思っています。

千代水地区

千代水地区まちづくり協議会

会　　長	吉澤　春樹	所在地	鳥取市商栄町 423 番地 2
事務局長	石脇　佳秀	TEL/FAX	0857-27-4813 / 0857-27-4818
設立年月日	平成 20 年 11 月 28 日	Mail	cc-chiyomi@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	482 世帯(R8.4/1 現)	HP	http://chiiki.city.tottori.jp/tiyomi-1/
組織構成	自治会・各種団体・会長推薦者・公民館		

地域コミュニティ計画　『千代水地区コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 23 年 2 月 28 日　　支援宣言　平成 23 年 7 月 21 日
  （令和 7 年 4 月 20 日・事業 5 部会から 3 部会へ集約）
- 目　　標　人とひとがつながり夢のある住みよいまち

◆ 地域の課題

千代水地区は、旧千代水小学校区を区域とした 6 地区からなる静かな純農村だったが、近年では、河川・道路の整備、新興住宅地の増加、区画整理、商業・娯楽施設の進出等により、都市化が進み、賑わいのある街と化してきた。それに伴い、小学校の通学区域の見直し、他地区への編入などがあり、今では、2 小学校区域、7 町区
自治会加入世帯数 482 戸（R8.4/1 現）となっている。

校区は地区の活動生活基盤であり、校区分散は活性化の希薄に繋がる可能性があるため、交流の機会を積極的に実施して、支え合い・親睦を深める必要がある。

また他地区同様、役員の高齢化や 65 歳を過ぎても働く人が多く、町内会や各種団体の役員を受ける人を見つけることが困難となっており、日頃から地区活動への参加を促すなど、住民同士が馴染みとなる仕組みづくりが必要である。

◆ 主な活動内容

（1）コミュニティ促進事業（総務・歴史部会）

- 地域住民の絆を深め活力あるまちづくりを目指し、活動発表の場の提供、住民意識の啓発活動、広報などの事業
  ・千代水ふれあいまつりの開催　・まちづくりだより発行　・しゃんしゃん傘踊り　・活動に必要な備品整備
  ・千代水神楽の伝承と広報活動

（2）防災防犯事業（防災防犯部会）

- 地域の安全・安心に関する事業で快適な居住環境づくり事業
  ・消火体験　・救急救命研修　・交通安全研修会の開催　・防災意識高揚の研修　・詐欺対策研修

（3）健康・環境事業（健康・環境部会）

- 健康増進、生活環境の改善、自然環境の保護など地域の環境美化の推進事業
  ・ちよみカップ体育の祭典　・ラジオ体操交流会　・e スポーツ体験会
  ・ポイ捨て一掃大作戦の実施　・環境美化セミナーの開催　・庭先花いっぱい運動の展開

今後の計画

□ 更なる会員相互の交流促進と地域コミュニティの活性化を図るため、「千代水地区まちづくり実施計画」に基づき着実な推進に向けて事業を計画します。

浜坂地区

浜坂地区公民館運営委員会

委 員 長	坪 倉 尚 敏	所在地	鳥取市浜坂四丁目 11-21
事務局長	中 村 仁 志	TEL/FAX	0857-27-0711 / 0857-27-0713
設立年月日	平成 21 年 2 月 27 日	Mail	cc-hamasaka @it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	3,63 1 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/hama-1
組織構成	公民館運営部、保健・体育部、福祉部、防災・防犯部		

地域コミュニティ計画　『浜坂地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 22 年 5 月 10 日　　令和　7 年　4 月　1 日(改訂)
- 支援宣言　平成 22 年 7 月 15 日
- 目　　標　◎「人と人がつながる」・「集い・ふれあい・助けあい」を合言葉に「あいさつ運動」を推進。「地区 7 大事業への参画」を通じて地域住民がお互いの理解を深め、安心安全で住み易く、心豊かなまちづくりを目指す。

◆ 地域の課題

浜坂地区は、団地形成が始まって以来５０年以上が経過する中、徐々に高齢化が進み、高齢者世帯、一人暮らし世帯の増加が目立つようになってきた。一方で地区の立地利便性の良さから戸建て住宅を中心に世帯数、人口は着実に増加しているが、世代交代の進展と生活スタイル変化により、人と人とのつながりや地域活動への関心の希薄化などから町内会からの退会、未加入などが目立ってきた。今後、「人と人とがつながる絆づくり」を大切にした取り組みを重視し、住民が安心して生活できるまちづくりに取り組む必要がある。

◆ 主な活動内容

事業①　災害に強い安全なまちづくり

・あいさつ運動の推進　・自然災害、交通安全、防犯への地域ぐるみの取り組み
・世代間交流など高齢者、子ども、若者との交流機会の創出、次世代への継承　・広報車の活用
・地区７大事業(納涼盆踊り大会、しゃんしゃん祭り、敬老会、地区大運動会、文化祭、防災訓練、新年を祝う会)への参画

事業②　地域の仲間づくり

・「公民館だより」「はまさか通信」発行による広報、啓発活動　・地域学校協働活動への参画
・町内会活動のサポート、基盤強化への取り組み　・町内会未加入世帯への加入促進
・地区７大事業(納涼盆踊り大会、しゃんしゃん祭り、敬老会、地区大運動会、文化祭、防災訓練、新年を祝う会)への参画

事業③　健康・安心・福祉のまちづくり

・健康でみんなが安心して暮らせる福祉のまちづくり
・町内対抗球技大会、市民スポーツ大会参加　・健康相談、健康講演会、健康ウォーク
・地区７大事業(納涼盆踊り大会、しゃんしゃん祭り、敬老会、地区大運動会、文化祭、防災訓練、新年を祝う会)への参画

◆ 今後の計画

地域住民の安心・安全を守るために、地域コミュニティがお互いを信頼し、助け合える人間関係を築き上げることが求められています。 そのために「あいさつ運動」のさらなる推進、地区７大事業へ積極的に協力・参加し地域住民相互の絆を深め、協力助けあいのできるまちづくりを目指します。

また、町内会加入促進を含めて町内会組織の充実を図り、非常変災時の互助の組織を確立するとともに、平素からの見守り活動を強化します。「まちづくりは人づくり」を合言葉に今後も取り組んでいきます。

米里地区

よねさとづくり自治協議会

会　　長	福田　忠司	所在地	鳥取市古郡家 79-4
事務局長	堀　　哲男	TEL/FAX	0857-51-8128　/ 0857-51-8131
設立年月日	平成 21 年 2 月 22 日	Mail	cc-yonesato@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	８８０世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/yone-1
組織構成	役員会、課題ごとの委員会、監査委員会、町区長会、地区内の各種団体		

地域コミュニティ計画　『米里地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 21 年 12 月 20 日（平成 31 年 3 月 23 日　第 8 期計画　改訂）
- 支援宣言　平成 22 年 2 月 12 日
- 目　　標　明るく住みよい「よねさと」

◆ 地域の課題

町内会加入率の低下をはじめ様々な課題の解決に向けた活動を担う人材の確保が難しい。人のつながりの希薄化が主な要因だが、行事など交流の場を設けるだけでなく、役員などの負担を減らし、より多くの方に関わっていただくよう、地区自治会の組織や業務等を見直し、「米里地区自治会」と「よねさとづくり協議会」を本年度から「よねさとづくり自治協議会」に一本化してスタートした。老若男女多くの人に対し伝わり、共感を得られるよう広報を充実し、地域外も含め多くの方の参画を得て「よねさとづくり」を進めていくことがさらなる課題。

◆ 主な活動内容

① 地区行事の実施

多くの住民のつながりをつくるため、これまで実行委員会を組織して開催されてきた行事（地区納涼祭や米里まつりなど）の内容を見直しながら実施するとともに、新たな取組みも模索する。

② 安全安心な基盤づくり

安全安心な地域とすることを第一とし、組織内に新たに防災減災委員会を設け、自主防災組織の底上げとともに、大規模災害発生を念頭に置いた地区防災体制づくりに取り組む。本年度は、発災初期に重点をおいた防災避難訓練を実施予定。

③ 地域資源の保全と活用・継承

地域のシンボルでもある大路山などの自然・里山景観や地域に点在する古墳や寺社など地域資源を保全・活用するとともに、地域の行事や伝統芸能、米づくりなど、地域文化の継承にも取り組む。

◆ 今後の計画

① 常設の専門部会は設けず、課題ごとに委員会を設置し、新たな人材を発掘し、具体的な方策をかたちにしていく。（例：地域コミュニティ計画に代わるビジョン策定、地域資源の活用と魅力づくり、など）

② 持続可能なよねさとづくりに向けて、地区内団体・組織の整理や規約などの見直しを引き続き進めていく。

津ノ井地区

まちづくり津ノ井

会　　長	谷口　尚	所在地	鳥取市桂木 307-11
事務局長	山 下 博 之	TEL/FAX	0857-51-8253 / 0857-51-8270
設立年月日	平成 21 年 2 月 20 日	Mail	cc-tsunoi@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	924 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/tunoi-1
組織構成	津ノ井地区自治会・区長会・地区各種団体・公民館		

地域コミュニティ計画　『地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成２３年４月２５日（平成２９年２月１０日　第２期計画　改訂）
- 支援宣言　平成２３年７月２１日
- 目　　標　賑わい・心の通う・活気ある・安全な・住みよい津ノ井づくり

◆ 地域の課題

地域活動の中心を担ってきた世代の高齢化と社会構造の変化が重なるなか世代を超えた交流を疎かにしてきた影響が後継者の確保・承継を難しくし地域活動への積極的な参加が望めなくなっている中［つどう］機会を増やす活動を推し進める必要がある。地区公民館と文教地区との距離が離れており、「つどう」ことが自然にできていないことも課題です。

◆ 主な活動内容

«環境整備事業»

1. 地域の中にある津ノ井駅の美化により気持ちよく利用して頂けるよう花壇の手入れ、プランター等を使用設置し花のある駅を目指し活動を進めるとともに美化活動にも学生の参加を呼びかける。
2. 砂田川の桜土手の利用によるイベントの検討、地域への情報発信を行い「つどう」・「つながる」場所へと整備する。
3. 地域の一大事業である敬老会で使用するパイプ椅子の更新を計画します。

«活性化事業»

1. 地元の小中高生については文化祭への出展、環境大学生については地区行事での演芸出演、屋台の手伝いなどで地域との関りを深めています。
2. 小学生を対象として野外学習会、夏休み陶芸教室など地域の魅力を感じることのできる行事や子どもたちの居場所作りに取り組みます。

«後継者育成事業»

1. 津ノ井地区に伝わる傘踊りを次の世代に伝える活動を保存会 OB と合同で進め残していく。

◆ 今後の計画

これまでは、環境整備事業における物品整備を中心に行ってきましたが、今後については、活性化事業として野外活動などに重点を置いて取り組む予定としています。

中学生・高校生・大学生については、地域活動・行事の計画段階から参画できるように、中学生・高校生・大学生を含めた会合を定期的に開催できるようにします。

空山広場・ウォーキングロードの維持活動はもとより、再生事業としてトイレ、東屋等を設置するとともに、空山に登りたいと思わせるような活動を検討します。

後継者育成事業については、地域の伝統芸能の継承について周知・広報することにより、まず、関心がある方の探し出しから行うなど、活動の在り方の検討が必要となっています。

若葉台地区

まちづくり WAKABADAI

共 同 代 表	谷 本 信 義 / 下 地 正 之	所在地	鳥取市若葉台南二丁目 16 番 1 号
事務局長	新 庄　雅 人	TEL/FAX	0857-52-2616 / 0857-52-4119
設立年月日	平成 20 年 4 月 27 日	Mail	cc-wakabadai@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,302 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/wakaba-1
組織構成	共同代表 2 名・副会長兼顧問 1 名・副会長 3 名・事務局長 1 名・理事 15 名・会計 1 名・監事 2 名・委員 15 名・顧問 7 名		

地域コミュニティ計画　『若葉台まちづくりグランドデザイン』

- 策定時期　平成 22 年 7 月 18 日（平成 29 年 4 月 15 日　第 2 期計画　改訂）
- 支援宣言　平成 22 年 12 月 10 日
- 目　標　「みんなでつくる顔の見えるまち・若葉台」

◆ 地域の課題

若葉台地区の課題は、児童数の減少による小学校存続問題です。団塊の世代が後期高齢者となり、地域を動かしていく方々が世代交代をしてきています。だからこそ、これからの若葉台を担っていく若い世代の育成に力入れて、小学校を地域の核に置き、子育て世代が無理なく地域に関わっていけるような活動に変えていく必要があります。また小学校だけでなく、こども園、中学校、高校、大学などの教育機関と協力していける体制を整えるとともに、地域内の高齢者の方も、今まで若葉台を支えていた先輩として協力や参加できる場を設けて、色々な世代が地域の一員として活動できるようなまちづくりを目指します。

◆ 主な活動内容

事業①　夏イベント「夕涼み縁日」

それまで地区公民館の駐車場で行われていたふるさと祭りを昨年度よりリニューアルして開催しています。

・会場を小学校に移動し、保護者や小学生に地域のイベントをより身近に感じてもらい、参加しやすくする。

・中学生や大学生に運営等に関わってもらい、地域を支える人材育成をする。

・地区自治会と協力し、町内会による出店を多数企画する。

・こども園園児や普段から公民館を利用している方々にステージ出演をしてもらい、小学校の敷居を下げ、色々な方が参加できるきかっけ作りをする。今年からは更に児童や一般者を対象に飛び入り参加も企画しています。

事業②　秋イベント「愛育会フェスティバル＆文化祭」

それまで学校行事として行っていた愛育会フェスティバルを、昨年度より、まちづくり協議会がよりバックアップすることで、小学校を中心とした地域のイベントとしています。

・夏イベント同様に、人材育成と多くの地域住民の協力を意識した企画をする。

・地区自治会と協力して、住民の作品展示を行う。（地区文化祭との融合を目指しています。）

◆ 今後の計画

・地域内の色々な団体がイベントを企画し、日程が重なりがちになることを考慮し、地域内の団体と協力し合いイベントを一本化することで、個々の負担と来場者の分散を減らす工夫をする。

・小学校を中心としたイベントを行うことで、地域全体で小学校を支えるまちづくりの基礎を作る。それがいずれ、小学校の存続につながると考える。

宮下地区

宮下地区まちづくり協議会

会　　長	福田　克彦	所在地	鳥取市国府町宮下 1012
事務局長	横山　　浩	TEL/FAX	0857-26-5925　/ 0857-26-5929
設立年月日	平成 20 年 12 月 18 日	Mail	cc-kfmiyanoshita@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,539 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/miyanoshita-1
組織構成	特色ある地域づくり部会　　生活環境部会　　文化健康部会		

地域コミュニティ計画　『宮下地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 22 年 3 月 1 日
- 支援宣言　平成 22 年 6 月 1 日
- 目　　標　「みんなで参加！みんなで楽しく！」

◆ 地域の課題

６５歳を過ぎても働く人が増えており、年間の様々な活動においても参加者の年齢層の広がりが少なくなってきています。それと同様に宮下地区まちづくり協議会役員も若返り化が難しいのが現状です（担い手不足）。地区公民館事業等と連携しながら、小学生等も対象とした活動を計画し、異年齢間交流の機会を増やしていきたいと考えています。

◆ 主な活動内容

宮下地区は、鳥取市東部に位置し、文化史跡が数多くあり万葉ロマンの漂う美しい自然に囲まれた地域です。宮下地区まちづくり協議会は、これらの地域資源を活かした『こころ豊かな安全で住みよいまちづくり』の活動に取り組んでいます。

次の３つの部会を中心に、地区住民が「みんなで参加！みんなで楽しく！」を合言葉に、集い繋がりを広げ深める活動を進めています。

○特色ある地域づくり部会＝地域の特色・魅力を活かしたまちづくり

桜づつみライトアップ、桜まつり、因幡国庁跡さつき祭りグラウンドゴルフ大会、地区お月見会
地区納涼七夕まつり、池田家墓所紅葉ライトアップ、地区新年の集い、宮下音頭踊りの普及活動

○生活環境部会＝安心・安全で美しいまちづくり

史跡公園美化活動、花いっぱい運動、地区周辺一斉清掃活動、宮ノ下っ子見守り活動
地区防災訓練への協力（地区防災会主催）

○文化健康部会＝豊かな心を育む健康づくり

宮下地区敬老会、健康料理講習会、地区史跡巡り健康ウォーク、文化祭グラウンドゴルフ大会
国府町内史跡探求勉強会

◆ 今後の計画

設立以来１８年目となりました。これまでの地域に定着してきた上記の事業を中心に、地区公民館事業との連携を図りながら改善を加え、「心豊かで、安心・安全な美しいまちづくり」に取り組んでいきます。

「みんなで参加！みんなで楽しく！」とともに「和(ワ)n(ン) Team 宮下」をモットーに、地域の各組織と連携をし、より多くの地域住民が参加できて、人と人との繋がりを大切にした「まちづくり」の活動を進めていきます。

あおば地区

あおば地区協働まちづくり会

会　　長	湯 藤　 憲 治	所在地	鳥取市国府町新町二丁目 246-4
事務局長	石 本　 一 夫	TEL/FAX	0857-24-0417 / 0857-24-0418
設立年月日	平成 21 年 1 月 25 日	Mail	cc-kfaoba@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1027 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/aoba-1
組織構成	総務部、健康・福祉部、環境・文化部、防災・防犯部		

地域コミュニティ計画　『あおば地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 22 年 5 月 29 日
- 支援宣言　平成 22 年 7 月 15 日
- 目　　標　住民相互の連帯感と自治意識の高揚を図り、各種団体と密接に連携して、魅力があり、安心・安全で住み心地のよいまちづくりを推進する。

◆ 地域の課題

各部会役員は積極的に活動をしていただいていますが、それぞれ高齢化に伴い、次世代のメンバー育成が課題となっています。地区内にはアパートが多数あり居住者と地域とのつながりは希薄で、自治会に加入してない方が多くあり、今後どのようにして関係性を深めるかも課題です。

◆ 主な活動内容

（総務部）

・顔見知りを広げていくあいさつ運動の推進(のぼり旗の増設、地域内の要所で街頭活動)
・地域資源（ひと・もの・お宝）の発掘と地域課題解決に向けた認識の共有

（健康・福祉部）

・地域住民が憩い、青少年の健全な遊び場としてのあおば公園の芝生と森の維持管理
・住民相互のつながりや信頼関係を深める親睦スポーツ活動の実施

（環境・文化部）

・地域の緑と花を育てる活動と文化・教養・生きがいづくり事業の推進・地域食堂の推進

（防災・防犯部）

・防災・減災意識啓発と避難ルートマップの作成
・児童の登下校の見守り活動と防犯の「まちの眼」づくり

◆ 今後の計画

（総務部）
・地域の活性化につながる事業の創出と展開
・取り組みの意識の醸成と多くの参画を促す広報活動の充実

（健康・福祉部）
・あおば公園の芝生の日常管理（芝刈り、水やり、施肥、冬芝の種まき）
・健康づくりウォーキングなど住民の健康増進を図り、つながりを深めていく活動の充実
・食に関する健康講座、料理教室などの開催

（環境・文化部）
・あおば公園の周囲土手の整備（マツバ菊の管理）
・歳時に合わせた物づくり教室の開催
・地域食堂の充実

（防災・防犯部）
・大規模災害を想定した家庭内対策の啓発・推進
・支えあいマップの作成(要支援者に対する支援のマッチングの視覚化)
・地域の各機関・施設・商店等と連携した防犯・防災の体制づくり

谷地区

谷地区活性化協議会

会　　長	山田　準二	所在地	鳥取市国府町糸谷 15-1
事務局長	山本　章正	TEL/FAX	0857-24-1636　/ 0857-24-1646
設立年月日	平成 21 年 3 月 14 日	Mail	cc-kftani@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	５５５世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/tani-1
組織構成	生活・環境部会、健康・福祉部会、特色ある地域づくり部会		

地域コミュニティ計画　『谷地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 22 年 3 月 23 日（平成２４年５月計画改訂）
- 支援宣言　平成 22 年 6 月 1 日
- 目　　標　1 自然景観を守りゴミのない清らかな川が流れるきれいなまちづくり
  2 安全・安心なまちづくり
  3 健康でいきいきと心豊かに暮らしていけるまちづくり
  4 支え合いにより安心して暮らしていけるまちづくり
  5 あいさつから始まり心地よい暮らしができるまちづくり
  6 季節の花薫り心安らぐまちづくり
  7 歴史と文化を大切にし活力があり誇りがもてるまちづくり
  8 参加と協働による住民主体のまちづくり

◆ 地域の課題

国府町は６５歳以上の高齢者が３１％以上を占め、全」１１自治会の内、２自治会が小学校在籍児童がいない。水田耕作者も年々減少し、耕作者平均年齢も高齢化が進んでいる。近年、運動会もレクリエーション大会と名称変更し、軽スポーツ中心に実施している。数多くの文化史跡や因幡の傘踊りなどの伝統芸能を活かした地域活性化やまちづくりを模索している。

◆ 主な活動内容

○水辺の楽校谷広場の整備と活用：地域住民の憩いの場となるよう年３回水辺の楽校谷広場を草刈・整備。
○フリーマーケット：秋の公民館まつりに開催。売り上げ金は全額災害地義援金に。
○あいさつ標語の募集と掲示：あいさつ運動推進のため小学生、一般から広く標語募集、国府東小学校校区の３つのまちづくり協議会合同事業。
○花いっぱい運動の推進：自治会プランターに花苗を春秋の年２回植栽、設置。谷地区の中心で県道沿いの「お花ばたけ」に四季折々の花を通年管理。
○てくてく歩(ある)公開(こうかい)：地区内外の名所、旧跡を巡るコースをご当地クイズで楽しみながら健康ウォーク。
近年春・秋年２回開催。５月は鹿野城下散策コース実施。
○しゃんしゃん体操の普及：事前に数回講習会開催し、夏の納涼七夕まつり、秋のレクリエーション大会で披露。
○地区内一斉清掃と通学路の安全点検：７月下旬、各集落毎に一斉清掃し、同時に子どもと共に安全点検実施。
○地区総合防災訓練：今年度は９月７日に谷地区総合自主防災訓練を実施。
○冬季ふれあい室内グラウンドゴルフ大会：冬季の健康づくりと親睦・世代間交流のため開催。
○「自主映画でまちづくり」研究成果報告会＆１２月「因幡大津絵」披露録画会の開催

◆ 今後の計画

○憩いのサロン充実、脳トレ、健康づくりのため太鼓の達人、ボッチャ、モルクの普及。
○伝統芸能の保存・継承：６月で通算１５回「因幡大津絵」傘踊り練習・研究会を実施、１２月披露。

成器地区

まちづくり・いきいき成器の会

会　　長	村 尾 和 博	所在地	鳥取市国府町中河原 68-5
事務局長	墨 土 隆 男	TEL/FAX	0857-58-0806 / 0857-58-0808
設立年月日	平成 20 年 11 月 28 日	Mail	cc-kfseiki@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	154 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/seiki-1
組織構成	環境部会、福祉健康体育部会、文化広報部会、企画公民館運営部会		

地域コミュニティ計画　『あたたかいあいさつがこだまする　いきいき成器の里づくりプラン』

- 策定時期　平成 22 年 3 月 24 日（令和４年４月２日　改訂）
- 支援宣言　平成 22 年 6 月 1 日
- 目　　標　あたたかいあいさつがこだまする　いきいき成器の里

◆ 地域の課題

成器地区は、市街地や都市圏への移住、高齢者施設への入居等による人口流出が止まりません。地場産業もなく、専業農家も高齢化のため、年々減っています。現在は人口減、少子高齢化が急速に進んでいます。

地域に子どもの姿が見えなくなる不安、次世代の担い手不足など、ふる里がいずれは消滅していくのではないかという危機感を抱いています。

生き生きと「いきいき成器」が、地域に住む人が参画し全員が活力をもって、活動し「活きる力、楽しさ」を養い、さらに、地域全体での活動に展開していく姿勢、対策の早急な取り組みが急務となっています。

◆ 主な活動内容

（１）「自然が美しい成器」事業

○グラウンドクリーン作戦・成器百年桜保護作戦実施。また、成器のお花畑の整備では、耕うん・うね立て・種まき・除草作業等を行い、成器ならではの美しい自然を守り、残す。また、環境整備を目的として活動を進めます。

（２）「こころあたたかな成器」事業

○ふれあい交流事業として、夏祭り「わったいな！いきいき成器総寄り愛」（納涼祭）、成器スポーツ大会（ミニ運動会）ふれあい祭り作品展（文化祭）、新年祝賀会などを開催します。あたたかい地域のきずなを結ぶことを目的として進めます。

（３）「安心・安全な成器」事業

○あいさつ運動、あいさつ標語の募集・看板の掲示や、防災リーダーの養成を図りながら、消防団等と成器地区防災訓練等を行い、「安心して安全に」いつまでも笑顔で暮らし続けられるまちを目指して事業を展開します。

（４）「ふるさといきいき成器」事業

○成器のまちづくりを考える交流事業を行う。また、成器地区の自然の姿、人々の暮らしの様子や集いふれあう様子等、地域の中に見られるたくさんの良いところを写真や絵画で表現する「成器良いとこ写真・絵画」事業では、作品を募集してふれあい祭りに展示します。

○旧成器小学校の校庭の成器百年桜について、成器桜まつり（お花見会）や春の夜を彩る夜桜ライトアップを行います。

○まちづくりのたよりとして「いきいき新聞」を随時発行します。

（５）「水源活用事業」

○殿ダムウォーキング大会

（６）「社会教育生涯学習事業」

○子どもと大人のふれあい事業　○特色ある公民館活動事業　○地域の仲間づくり事業　○人権啓発推進事業

◆ 今後の計画

令和 8 年度の新規事業としては、集落の良い所にスポットを当てたウォーキング大会、定例会としてグラウンドゴルフ（毎月第２水曜日）生け花教室（月末の金曜日）ｅスポーツ（毎月第４水曜日）ドローンクラブ（月末の火曜日）健康マージャン（毎週金曜日）等があります。実施できる事業計画にするため、見直しや検討をしながら新しい事業を進めて参ります。

大茅地区

おおかや郷づくり協議会

会　　長	野村　敏広	所在地	鳥取市国府町栃本 471-3
事務局長	岸本　武司	TEL/FAX	0857-58-0809 / 0857-58-0811
設立年月日	平成 21 年 4 月 18 日	Mail	cc-kfokaya @it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	７８世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/okaya-1
組織構成	集落選出の郷づくり委員、各組織代表など		

地域コミュニティ計画　『おおかや郷づくり協議会　郷づくり計画』

- 策定時期　平成３０年３月１日（令和４年４月１日 改定）
- 支援宣言　平成３０年３月２２日
- 基本理念　〈活動のスローガン〉　住んで良かった!!　帰って良かった!!　大茅の郷

◆ 地域の課題

住民の高齢化と少子化・過疎化が急速に進み、組織づくりに携わる者の減少傾向が進んでいますが、3 年前の台風被害以降続いていた地区外からの人の出入りも、工事復旧と共に増加が見られ、地区内にも徐々に活気が戻ってきました。ただ、人口の減少傾向は止まらず、空き家のみが増えるのみで、防犯対策が課題です。

◆ 主な活動内容

令和４年４月から公民館組織とまちづくり組織を一本化した「おおかや郷づくり協議会」として新発足し現在に至っています。

令和 7 年より「ふれあい部」「にぎわい部」「生涯学習部」と名称変更した専門部を設けた組織とし、これ迄は主に公民館主導の形で計画実行されていた感の地域イベントについては、新しい組織への転換を機に、大茅地区の環境を生かした地域住民自らの発案を大切にし、地域住民が先頭に立って、都市との交流も活動に加えての事業展開をやろう、という当初の基本方針を継続しているところです。ただ、地域の特性を生かしての屋外でのイベントが多く、天候に左右され易い事が一つの課題となっているのが現状です。

(ホタルの里まつり) 年間を通してホタルの生育の為の餌やり、草刈り、幼虫放流などを事業として行い、イベント開催内容は都市との交流を主にしている。

(雨滝コンサート) 地域内の観光地でのイベント。音楽を愛好する方に参加していただき、地域内外の住民、観光客を交えた交流事業。　　他に(スポレク)(大茅山登山)(雪イベント)など。

従来から実施している生涯学習関連事業は継続する事とし、森と緑に囲まれた自然環境を生かした事業を模索しつつ、少子高齢化の進むこの地域に、人と人との交流を生み出し、地域に賑わいと活性化を作っていく為の事業展開を目指しており、コミュニティー計画としてはこれ迄の方針と基本的には変更はありませんが、地域住民の自主性を重んじた方向を主とし、従来の事業内容に変更を加えつつ、新しい内容も取り入れて行きたいと思っています。

(納涼の集い・秋を観る会・おおかやまつりなど)

◆ 今後の計画

住民の高齢化は進む一方で、６０～７０歳代は各事業の中心となって活動していただいており、まだまだ現役世代です。こういう方々の健康づくりと仲間づくりも大きな課題です。ふれあいサロン・健康講座の充実実施も不可欠で、活動のスローガンに掲げている「住んで良かった」「帰って良かった」と言えるような地域づくりを目指し、地域資源の再発見と有効活用などを軸に、他地域との交流を通じて特色ある「郷づくり」を模索して行きたいと思っています。

また、大茅地区の特徴である屋外イベント対応については、専門部会の中でも、天候を考慮した予備日を検討すべしの意見もあり、今後の課題の一つです。

福部地区

福部まちづくり協議会

会　　長	谷口　孝義	所在地	鳥取市福部町細川 668
事務局長	森　昌彦	TEL/FAX	0857-75-2817　/ 0857-75-2564
設立年月日	平成 20 年 11 月 26 日	Mail	cc-fukube@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,017 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/fukube-1
組織構成	地域学習部、生活環境部、安全・安心部、公民館運営部		

地域コミュニティ計画　『福部町地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 22 年 4 月 14 日　　支援宣言　平成 22 年 6 月 2 日
- 目　　標　「明るく生き生きとしたふれあい豊かなまちづくりを推進する」
- 1 生き生きとした地域を創造する運動　2 美しい生活環境を創造する運動
  3 青少年の健全な発達を促進する運動　4 高齢者の社会参加を進める運動
  5 資源を大切にし循環型社会を創造する運動　6 安心・安全のまちづくりを進める運動
  7 地域の伝統文化・行事を継承する運動　8 ふれあいを大切にする地域を創造する運動

◆ 地域の課題

福部地区は、第一次産業である農業を主体とする地域で、春の水稲作付けに始まり、梨・らっきょうと収穫期に向けて多忙な農作業が続きます。この間、多くの人が一堂に会する事業の開催が困難な状況にあります。

従って、初冬から年度末にかけての主催事業が過密になり、一層充実した取り組みが望まれています。

◆ 主な活動内容

事業①　安全・安心のまちづくりを進める運動・青少年の健全な発達を促進する運動
※青少年健全育成を目指す合同研修会　※子ども防災教室　※安全・安心部の研修会等の開催

事業②　美しい生活環境部を創造する運動・資源を大切にし、環境型社会を創造する運動
※地域を花いっぱいにしよう運動　※道路を花で飾る運動
※花いっぱいコンクール（不法投棄の監視巡回）　※各地区で清掃活動実施

事業③　ふれあいを大切にし、こころ豊かで生き生きした地域を創造し地域の伝統文化・行事等を継承・維持する運動
※青少年健全育成を目指す合同研修会　※ふくべ公民館まつり　※地域づくり学習会（まちづくり推進大会）
※ふれあいを大切にする運動

事業④　社会環境の変化に伴って、学習内容も多様化している。地域住民のニーズをとらえ、地域住民が集い、学び合い、つながる社会教育学習を提供する。
※生涯学習委託事業［親子の触れ合い事業・健康づくり事業・歴史・文化と触れ合う事業・人権啓発啓発推進事業・地域の仲間づくり事業］※公民館だより毎月 1 回発行　※公民館運営委員会を開催

◆ 今後の計画

福部まちづくり協議会は、「明るく生き生きとしたふれあい豊かなまちづくりを推進する」目的達成のため、福部町地域コミュニティ計画に定めた運動の牽引役を明確にし、活動の円滑化とまちづくりの核となる地域集落の運動の活性化を図ります。 今後も４つの専門部を中心にそれぞれの活動を継続するとともに、地域の課題に取り組みながら明るく豊かな地域づくりを目指します。

河原地区

河原地区まちづくり協議会

会　　長	谷口　吉左衛門	所在地	鳥取市河原町長瀬 45-1
事務局長	森山　裕明	TEL/FAX	0858-85-2959　/ 0858-85-2970
設立年月日	平成 21 年 11 月 16 日	Mail	cc-kawahara @ it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1003 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/kawahara-1
組織構成	地域・環境のまちづくり部会、安全・安心のまちづくり部会、福祉・健康のまちづくり部会		

地域コミュニティ計画　『河原地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 22 年 8 月 2 日　（令和 8 年 3 月 12 日改訂）
- 支援宣言　平成 22 年 12 月 10 日
- 目　　標　地域の様々な課題解決に向け、自治会を中心として各種団体と地区住民が協働し、地域をより良いものするため、目的に沿った活動を展開します。

◆ 地域の課題

河原地区は公民館設立当時の 8 集落から現在は 11 集落となり今日に至っております。

鳥取市全体では人口減少が進む中、人口も世帯数も何かと維持できている地区だと思っています。しかしながら、自治会加入率の低下と地域住民同士のつながりの希薄化には充分に対応できているとは思えません。全戸対象の防災訓練、親睦運動会などを通じて一歩ずつ取り組むことが大切だと思います。

◆ 主な活動内容

事業①　河原地区防災訓練　避難訓練を実地に行い、災害発生時に、河原町総合支所対策本部から「避難指示」が出された時点から、地区住民が避難を完了するまでの各部落の必要な対応を検証する。部落放送や携帯電話利用の連絡体制づくり、班長制度の活用、部落内の要支援者の把握、移動方法や避難経路、避難時間など想定される課題を見つけ出し、実態に即した改善対策を検討することを目的とし、今年で 14 回目の開催となる。 第 9 回目より、家族の無事を知らせるサインとして、黄色いハンカチを玄関先に掲示し、安否確認を容易に行うことを目的とする「黄色いハンカチ大作戦」を実施しており、地域住民の安否確認方法として定着してきている。

事業②　健康ウォーキング　健康づくり推進と地域住民の親睦のために毎年、ウォーキングを実施している。地区健康づくり推進員との共催事業で、今年で 15 回目となる。

事業③　高齢者サロン　高齢者の交流の場、助け合いの場、また、居場所づくりとして高齢者サロンを開催している。春には、健康に関する講座や認知症についての学習などを行い、秋にはバスを利用し、野外研修を実施している。

◆ 今後の計画

【地域・環境のまちづくり部会】

かわはら芝公園のコミュニティ活動、花いっぱい運動、芝生の維持・管理、運動会開催支援、緑化活動

【安全・安心のまちづくり部会】

防災視察研修、防災事業への取り組み（第 14 回河原地区防災訓練の実施）、防災用具の整備、

地域の防犯対策（高齢者の防犯講習会・クリスマスシーズンにイルミネーションの設置）

【福祉・健康のまちづくり部会】

地区親睦グラウンドゴルフ大会開催支援、高齢者サロンの開催、敬老会の開催支援、健康ウォーキングの実施、

異世代交流事業（ピザ作り）

【広報】河原地区まちづくり協議会だより発行（公民館だより裏面に掲載）

国英地区

いきいき国英ふるさとづくり協議会

会　　長	蓮 佛 啓 一	所在地	鳥取市河原町山手 459-1
事務局長	渡 邉 二 之	TEL/FAX	0858-85-0448 / 0858-85-0449
設立年月日	平成 21 年 9 月 29 日	Mail	cc-kunifusa@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	３６９世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/kunifusa-1
組織構成	いきいき本部、生涯学習部、健康・福祉部、環境・美化部、体育・交流部、コミュニティバス部		

地域コミュニティ計画　『いきいき国英夢づくりプロジェクト』 ～いきいき国英ふるさとづくりビジョン～

- 策定時期　平成 22 年 3 月 25 日　（令和８年４月１１日 第２期計画 改定）
- 支援宣言　平成 22 年 6 月 1 日
- 目　　標　「いきいき国英、人がつながる、ふるさとづくり」　―人が輝く、 自然がうるおう、 共に生きるー

◆ 地域の課題

国英地区は高齢化率が 40%を超え、少子化も進行しています。これまで地域活動を支えてきた人々の高齢化や、新たな後継者の育成が課題となっています。また、地域コミュニティの希薄化や児童・高齢者等の交通弱者の移動手段の確保が課題となっています。

◆ 主な活動内容

事業① 地域の環境整美

地域の自然が豊かな環境を保全することを目的に、国英広場を中心に環境整美に努めています。具体的には、花いっぱい活動、芝の管理、碑台地樹木の剪定、公民館周辺の清掃、リンピア周辺の草刈りなど、環境・美化部と部落長会が連携して、地域主体の活動となるよう運営しています。

事業② カフェ「いこい」の運営

「人がつながる居心地のよい場所に」をテーマに国英地区コミュニティ施設内に、カフェ「いこい」をオープンし、毎週月・水・金の３日間営業しています。コーヒーを片手にホッとくつろぐ場として、農作業の息抜きに、グループの集まりに、小会議の場として、アリーナ・芝生広場で汗を流した後の２次会として、など利用の仕方は色々です。

事業③ コミュニティバスの運行・管理

共助交通「いきいき国英コミュニティバス」を運行しています。小・中学生の通学や高齢者等の交通弱者の移動手段として利便性向上に努めています。地域の中を走るバスとして、住民から親しまれ、「地域をつなぐ」運行が期待されています。

◆ 今後の計画

〇令和８年４月、一括交付金制度を活用し、地域づくりと生涯学習が一体的に展開されるよう、これまでの「コミュニティ計画」の趣旨を生かして「いきいき国英ふるさとづくりビジョン」を策定した。

〇国英のよさ「人・自然・共生」を活かして、「人のつながり」を大事にしながら地域づくりに取り組んでいきます。

〇地域主体の活動となるよう、地域のみんなで話し合い、思いを共有したり、活動のアイデアを交換したりして、「人が輝く」「自然がうるおう」「共に支え合う」、いきいきとした「ふるさとづくり」を進めていきます。

西郷地区

いなば西郷むらづくり協議会

会　　長	前田　伸一	所在地	鳥取市河原町牛戸 15-1
事務局長	窪田　清志	TEL/FAX	0858-85-0445　/ 0858-85-0591
設立年月日	平成 21 年 12 月 6 日	Mail	cc-saigo@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	411 世帯	HP	https://sites.google.com/view/inaba-saigou/
組織構成	広報部、文化部、福祉健康部、環境部（三滝部）、農林部、やどかり部		

地域コミュニティ計画　『いなば西郷むらづくり計画』

- 策定時期　平成 22 年 11 月 27 日（平成 27 年 4 月 25 日　第 2 次計画　改訂）
- 支援宣言　平成 22 年 12 月 10 日
- 目　　標　1 笑顔あふれる元気な郷　　2 美しい自然の郷
  3 文化が息づくものづくりの郷　　4 活きいき農業の郷　　5 手をつなぐ開かれた郷

◆ 地域の課題

西郷地区の高齢化率は 50%を超え、部落によってはほとんど高齢者ばかりのところもあり、それに伴って農地の保全管理や雪かき等生活環境の維持、買い物、部落行事や神事の継承等に困難が生じてきています。また、60 歳の定年以降も働く人が増えたり、若年層の労働環境が厳しかったりと、次世代の担い手を見出すことが難しくなっています。

やどかり部の活動などで、移住希望者も時折現れますが、多くの空き家は修繕が必要で、せっかくの機会を生かせていません。住民の精神的な核となっている小学校の統廃合問題も再編検討委員会が発足し現実的な課題となっています。

◆ 主な活動内容

事業①「西郷工芸の郷」としてより前へ、より力強く

工芸の郷として西郷を盛り上げていこうと平成 28 年に発足した（一社）西郷工芸の郷あまんじゃくと連携し、西郷の魅力の増進に取り組んでいます。現在、陶芸 6 窯元のほか、木工やガラス、銀工の 3 工房が参加しています。今年第 11 回を迎える工芸祭り、フォーラムやワークショップのほか、移住作家の募集やそのための空き家の整備も行い、より多くの人に西郷を知ってもらおうと活動しています。

事業②山林河川や農地など、周囲の環境を守り、はぐくむ

西郷の美しい自然を保全し、関心を持ってもらおうと、環境部・三滝部を中心に地元部落とも連携しながら曳田川や高山三滝周辺の美化活動、野鳥観察などを開催しています。また、県指定名勝三滝渓の千丈滝への道を復活させたいと活動する三滝まもり隊とも協力し、周辺整備や三滝夏祭りなどのイベントも実施していますが、令和 5 年 8 月の災害により林道が通行できなくなっているため、早期の災害復旧が待たれます。また、農地水まもり隊が率先して、農地・農水路の保全活動を行っています。さらに、曳田川に多くの魚影を復活させたいと、地元有志が「曳田川に魚を増やす会」を R5 年度発足させ、活動を始めました。

事業③　文化と思いを世代から世代へ、人から人へ

小学校と連携し、しめ縄づくりやしいたけ植菌など、地域住民と小学生が一緒に作業する世代間交流事業を行っています。敬老会や健康体操、「まちの保健室」などの行事もむら協の主催で行い人的交流の促進に努めています。また、西郷の歴史を残そうと今昔の資料を発掘する作業を R3 年度から始めており、R7 年度に写真集「今と昔」を発刊しました。さらに、年 4 回むらづくりだよりを発行・全戸配布し、多くの写真で活動を報告、情報共有に努めています。

◆ 今後の計画

〇組織の高齢化が進む中、事業整理が課題で、担い手の負担を減らした、持続可能な組織運営を模索していきます。

〇ここ数年、組織の在り方の検討を進めており、承継および世代交代のため、協議会発足 20 年となる令和 10 年を目標に、組織のリニューアルに取り組んでいきます。

散岐地区

ふるさと散岐地域づくり協議会

会　　長	前田　伸二	所在地	鳥取市河原町佐貫 784-6
事務局長	山田　和志	TEL/FAX	0858-85-2905　/ 0858-85-2938
設立年月日	平成 21 年 3 月 25 日	Mail	cc-sanki@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	420 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/sanki-1
組織構成	地域活性化部会・教育文化部会・地域交通部会		

地域コミュニティ計画　『ふるさと散岐地域づくりコミュニティ計画』

- 策定時期　平成 22 年 9 月 30 日
- 支援宣言　平成 22 年 12 月 10 日
- 目　　標　安全・安心及び環境にやさしいさんきづくり
  活力ある地域コミュニティでさんきづくり
  心豊かな生活と子どもが健やかに成長できるさんきづくり
  地域の自然・文化、人材を活用しながら、みんなで子どもを育てるさんき
  健康で暮らしやすいさんきづくり
  情報発信と事業推進に取り組みます

◆ 地域の課題

散岐地区は、高齢化と過疎化が進む中山間地域です。65 歳以上でも働く人が増え、地域活動や役員選びなどの決定が困難になってきています。高齢の方には運転免許証を返納されている方も多く、令和４年４月から始めた共助交通を既に利用されている方もおられますが、もっと多くの方に利用していただきたいです。又、サークル活動も現在は１団体のみの利用で、今後増やしていきたいと思います。高齢者が孤立しないように、公民館事業などへの積極的な参加を声掛けしていくことも、今後の課題の一つです。

◆ 主な活動内容

○広報誌『ふるさと散岐地域づくりだより』第１５号を発行しました。
○モルック大会：公民館と共催で６月と１０月に行い、子どもも大人も素晴らしいプレーが見られました。延べ５３名参加
○第１４回さんきウォーク：佐貫・八日市寺院めぐりとＢＢＱを予定していましたが、荒天のためＢＢＱの食材等を賞品にしてビンゴ大会に変更しました。４０名参加
○散岐の元気を届けよう～高齢者世帯への声かけ見守り活動～：対象者８６名に地域の特産加工品などや小学生のメッセージカードを持って訪ね、地域活動の参加など外出等の誘引。２２名参加
○門松づくり：小学生と地域住民で作製し、公民館と小学校の玄関に設置。１９名参加
○防災・減災事業～安心安全なまちづくり～：起震車で震度７の体験と非常食試食会をしました。２９名参加
○恵方巻＆ｅスポーツ：恵方巻を作った後、太鼓、カーレースのｅスポーツを行い、世代を超えて交流をしました。５０名参加
○ニュースポーツ体験：ばばのばプロジェクトのさんき駄菓子スポーツフェスティバルに協賛し、ニュースポーツ・昔遊びで世代間交流をしました。７５名参加

◆ 今後の計画

○高齢者世帯への声かけ・見守り活動	○防災・減災事業	○健康スポーツ大会
○伝統をつなぐ～正月飾り（門松）を作ろう	○恵方巻＆ｅスポーツ	○親善グラウンドゴルフ大会
○第１５回さんきウォーク	○モルック	○マップ作り
○遊び体験		

八上地区

八上輝きの里づくり協議会

会　　長	田村　稔	所在地	鳥取市河原町曳田 186-21
事務局長	田村　善洋	TEL/FAX	0858-85-2951　/ 0858-85-2952
設立年月日	平成 22 年 3 月 14 日	Mail	cc-yakami@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	１８１世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/yakami-1
組織構成	役員、代議員（各部落の役員・委員代表）		

地域コミュニティ計画　『八上輝きの里づくり協議会コミュニティー計画』

- 策定時期　平成 22 年 11 月 8 日
- 支援宣言　平成 22 年 12 月 10 日
- 目　　標「人を大切にする、やさしい心が育つまち」
  「自然を大切にし、人々が安心して暮らせるまち」
  「暮らしを大切にし、魅力ある産業が確立されたまち」

◆ 地域の課題

八上地区は３部落 181 世帯（R8 年度）と河原町内において一番小さなコミュニティであり、組織造りに関わる人員の確保も困難になっており、八上地区を細部にわたって輝かせるにはより一層の世代間交流とコミュニティ活性化事業の内容充実が課題です。

◆ 主な活動内容

事業①佐治四郎重貞が繋ぐ「曳田と佐治」との交流会

昨年に引き続き佐治との地域間交流を行います。今年は八上地区に佐治の方々をお迎えし、曳田地内の視察や芋煮鍋と曳田米などの交流会を予定しています。佐治四郎重貞は八上地区曳田出身で佐治地内の発展に寄与された方です。

事業②地区防災＆もちつき大会

昨年は、近年の異常気象や災害を教訓とし、防災意識を高めると共に災害時の対応を学ぶ事を目的に、鳥取県自主防災活動アドバイザーをお招きし「明日くるかも？地震に備えよう！」と題し講演して頂きました。感震ブレーカー特微を理解し電気火災から家やまちを守る大切さ、防災時に使える携帯トイレの確認を行いました。公民館内の非常用備蓄品に携帯トイレも加えました。今後も体験型研修を行い、災害に備えていきます。研修前には「もちつき大会」を行い、子どもたちも昔懐かしい臼と杵を使い、もちつきを楽しみ賑やかな会となりました。今年も引き続き講演会・もちつき大会を開催します。

事業③コミュニティー活性化事業（八上ふるさと祭り・公民館まつり）

毎年好評の「八上ふるさと祭り」を 6 月に開催し、子どもから大人まで楽しめる企画で多くの方々にご参加いただきました。屋台メニュー7 品出店、人気の焼きそば・たい焼きなどに加えと新たに「フランクフルト・チキンナゲット」を増やしました。イベントも「水ヨーヨー釣り・ビンゴゲーム・くじ引き・輪投げゲームなど」7 企画を用意して盛況に終えることができました。また、11 月の公民館まつりにも屋台出店、輪投げゲームを予定しております。

◆ 今後の計画

〇ふるさと祭り・公民館祭りの開催：より多くの住民参加と世代間交流が進むよう、企画内容を充実し取組む。

〇防災研修会の開催：災害への備えから、災害時の具体的な避難行動など継続・反復し取組む。

〇公民館・部落長会と協働：敬老事業・地区運動会・環境保全等、地域行事と協働しコミュニティの充実に向け取組む。

用瀬地区

用瀬地区まちづくり協議会

会　　長	川 西 仁 志	所在地	鳥取市用瀬町用瀬 253
事務局長	有 本 健 一	TEL/FAX	0858-87-3108 / 0858-87-3411
設立年月日	平成 21 年 3 月 24 日	Mail	cc-mochigase@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	468 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/mochigase-1
組織構成	生活安全部会、健康福祉部会、教育文化部会、地域美化部会、地域活性化部会、広報、総務会		

地域コミュニティ計画　『用瀬地区まちづくり計画』

- 策定時期　平成 22 年 5 月 31 日
  （平成 26 年 4 月 27 日 第 2 次計画 改訂）（平成 30 年 4 月 第 3 次計画 改訂）
- 支援宣言　平成 22 年 7 月 15 日
- 目　　標　自然を大切にし、ひとにやさしいまちづくり ～自然を生かした心のふれあう用瀬地区～

◆ 地域の課題

高齢化率の上昇と少子化が、集落の人口減少に拍車をかけています。公民館利用者の固定化と高齢化にも影響を受けています。地区内では、空き家も増加し、利活用できずに廃屋になるケースもあります。

若者が地域にかかわることが希薄になっており、今後まちづくり協議会の事業内容が課題となります。

◆ 主な活動内容

事業① 花いっぱい運動（春・秋）

各集落に配布してあるプランターに、花苗を植えて各集落の公民館周辺に置いてもらう活動を春と秋に実施しています。春はもちがせマラニック大会のウォークコースになっているため、まちなかを花で飾っています。秋は、住民対象にチラシを配布し花苗販売をしています。この事業は長年好評をいただいています。

事業② 松明行列・夏祭り

7 月 22 日、三角山のふもとにある女人堂までの参道を松明をかざして歩きます。また、力石（願掛け石）に願い事を託し、祈願成就の印として石を手向けます。伝説の修行者に扮した天狗が登場し、参加者を迎えます。親子で参加できる事業です。翌日 23 日は、まちなかを集落の踊り子連が自慢の踊りを披露します。公民館前で、バザーを開催し賑わいを創出しています。

事業③ 用瀬ふれあい運動会

6 月上旬実施の運動会は、地区住民が一同に集まり、まちづくり協議会の最大事業となっています。少子高齢化の中、年々参加者が減少しているのが課題ですが、みんなで楽しくできる種目を厳選して参加しやすい工夫をしています。また、中学生がボランティアで役員を務め、運営協力など大いに盛り上げてくれています。

◆ 今後の計画

5 つの部会の事業は、固定化した事業もありますが、毎年部会を開催し内容の課題・検討を実施しています。

他の部会や団体と重複している部員もあり、集落からの選出も年々苦労が多くなっています。

現在の地域の現状をふまえた上で、事業計画と内容を検討していきます。住民に対してまちづくり協議会事業に参加を促し、魅力ある事業を展開させていく努力をしていきたいと思います。

大村地区

大村地区まちづくり協議会

会　　長	高 田 文 洋	所在地	鳥取市用瀬町鷹狩 3-12
事務局長	谷村　伸一	TEL/FAX	0858-87-2884 / 0858-87-2892
設立年月日	平成 21 年 3 月 7 日	Mail	cc-omura@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	404 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/omura-1
組織構成	地域活性化部会、文化体育部会、健康福祉部会、広報委員会		

地域コミュニティ計画　『大村地区まちづくり計画書』

- 策定時期　平成 22 年 3 月（第 1 次計画書作成）、平成 23 年 1 月（第 1 次概要版作成）
  平成 26 年 3 月（第 2 次計画書改訂）、令和元年 3 月（第 3 次計画書改訂 概要版作成）
- 支援宣言　平成 22 年 6 月 2 日
- スローガン　「だれもが参加　みんなでつくる　ふるさと大村」

◆ 地域の課題

各集落の住民の高齢化と過疎化に伴い、住民同士のつながりが希薄になり、防犯・防災・救急などの緊急事態時にどれだけ互助活動に繋げられるかまちづくりの根幹が試される時機に来ています。鷹狩駅近くに若者世代による新規居住者が増加しております。既存自治会への加入について受け入れ側の自治会からは各種の事情により、新規自治会として対応してほしいとの考えもあり、加入者側の思いと合致できず新たな課題が発生しています。

◆ 主な活動内容

今年度は 4 月から各種会議を経て「春の花いっぱい運動」、「大村地区大運動会」を開催することができました。地区内の保育園児、小学生は殆ど参加し、千代南中学生は 15 人がスタッフとしても協力くれて大運動会が盛り上がりました。「おう穴まつり」は 7 月最終日曜日開催として、準備を進めております。例年続けた事業について少しずつ見直しをして実施します。環境美化活動の「クリーンもちがせ」は年 2 回開催します。「資源回収」は、夏季一度の実施に変更しております。地区住民の高齢化に伴う各事業役員の心理的・体力的負担も考慮しながら今後も各種の会議、事業を進める必要があります。

① 地域活性化部会〔役割：地域活性化・地域資源の活用・環境美化・防火防災・防犯等の課題の検討及び解決策を協議し支援する。〕主に環境美化活動を行っています。上記記載の事業をはじめ、地域の自然遺産である「赤波川渓谷のおう穴群」の環境整備は今年もボランティア 40 名～50 名で作業を行います。整備後には「おう穴まつり」を実施します。夏場の「赤波川渓谷のおう穴群」でリゾートを楽しんでほしいと考えています。8～9 月に地区防災研修会を行います。

② 文化体育部会〔役割：文化・芸能・スポーツ・青少年育成等の課題の検討及び解決策を協議し支援する。〕7 月、「防犯パトロール大村総会」に、智頭警察署員を招き地区住民との連絡会を開催します。通年の活動として小学生・中学生の登下校時見守り活動を行っています。「大村地区大運動会」「おう穴まつり」の実施。

③ 健康福祉部会〔役割：地区住民の健康づくり、福祉活動等の課題の検討及び解決策を協議し支援する。〕11 月にはふれあいまつりで作品の展示等、人権啓発研修会（視察）を計画しています。「用瀬町米寿・喜寿・敬老祝賀会」は記念品と写真撮影（喜寿年齢者のみ）は例年通り実施しました。

④ 広報委員会は、例年通り「広報おおむら」を年 2 回の発行に向けて地域の情報や事業報告等記事の収集等を行っています。

◆ 今後の計画

身近な地域の課題である「安全・安心なまちづくり」のため防災マップの利用、緊急時避難所物品の充実、避難所の開設（公民館）受入れ訓練、救命救急・消火・避難・通報訓練など、様々な事例に合わせた訓練を行うとともに、課題別に検討委員会を立ち上げて話し合いを進めていくこととしています。

社地区

いきいき社まちづくり協議会

会　　長	西川　功美	所在地	鳥取市用瀬町宮原 88-1
事務局長	加賀田　為信	TEL/FAX	0858-87-3473　/ 0858-87-3478
設立年月日	平成 22 年 3 月 20 日	Mail	cc-yashiro@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	337 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/yashiro-1
組織構成	調査・広報部会、安全・環境部会、健康・福祉部会、文化・スポーツ・少年部会、いきいき社バス事業部会		

地域コミュニティ計画　『社むらづくり計画書』

- 策定時期　平成 23 年 3 月 22 日
- 支援宣言　平成 23 年 7 月 21 日
- 目　　標

1.年間を通して、活動の調査・情報収集を行い、広報誌等で地域住人に対して広く広報活動を行います。また、定期的に事業を見直します。

2.地域防災の充実を図り、安心安全なむらづくりを目指します。また、環境問題に対しては、自分の身近なところでの環境美化や地球環境保全の事業に取り組みます。

3.社地区が健康で楽しく、安心して暮らせる安住の地となるようむらづくりを図ります。

4.地域伝統文化に触れることを通して地域への誇りや愛着心を育み、活気に満ちた地域作りを行い、次世代に伝えていきます。また、スポーツを通して、交流・ふれあいの場を設けて、地域住民の体力増進・維持を図ります。

5.地域住民の生活を支える移動手段を維持、確保します。また、利用者ニーズに合った共助交通を運行します。

◆ 地域の課題

少子高齢化に伴う人口減少はさらに進み、後継者も少なくなる傾向は否めません。地域に住み続ける次世代の定着が求められます。地域には 16 の集落があり、各集落毎に自治会活動等を行っていますが、役員の負担も増えています。

また、鳥獣被害（猿、鹿等）・自然災害（土砂災害等）への対策が急務です。

自助、共助、公助のバランスをとり、より安心・安全な環境作りが必要です。

◆ 主な活動内容

【調査・広報部会】 広報“やしろ”を年 4 回発行しています。

【安全・環境部会】 平成 28 年に結成した“住民見守り隊”は、主に小中学生の夏休み中の見守り活動を行い、日常の声かけや散歩時のパトロールなどの活動をしています。資源回収活動も継続して行っています。また、平成 23 年～25 年に設置した有害鳥獣侵入防止柵の維持管理なども行いました。

【文化・スポーツ・少年部会】 「地区運動会」「グラウンドゴルフ大会」を開催し、若い世代から高齢者までスポーツを通して親睦を深めています。「洗足山登山会」では、地区内外参加者が山歩きしながら交流しています。

【健康・福祉部会】 平成 27 年から社地区全体のサロン「福の会」を月 1 回開催し、現在 40 名程度の方が参加して住民のふれあいの場となっています。また、「いきいき社むらまつり」の開催など地域活性化へつながる事業を開催しています。

【いきいき社バス事業部会】 令和 4 年 4 月 1 日より鳥取市交通空白地有償運送補助金事業として、共助交通 「いきいき社バス」の運行を開始しました。

◆ 今後の計画

地区内の伝統文化等の情報収集や支援を行い、住民に紹介・体験の場を設け、継承・発展を行っていきます。また、子育て世代の活動を支援していきます。令和 4 年度から運行を開始した共助交通「いきいき社バス」をより広く利用して頂けるように努めます。

佐治地区

佐治町まちづくり協議会

会　　長	小谷　繁喜	所在地	鳥取市佐治町加瀬木 2542-1
事務局長	谷口　武	TEL/FAX	0858-88-0228　/ 0858-88-0219
設立年月日	平成 21 年 2 月 8 日	Mail	saji.mirai2019@gmail.com
世 帯 数	700 世帯	HP	https://sajimirai.jimdofree.com
組織構成	健康・福祉部、文化・スポーツ部、地域・環境部、広報部、公民館事業部		

地域コミュニティ計画　『佐治町まちづくり計画書』

- 策定時期　平成 22 年 4 月 21 日　（平成 31 年 4 月 22 日　第 3 期計画　改訂）
- 支援宣言　平成 22 年 7 月 15 日
- 目　　標　～子ども世代には夢を　現役世代には希望を　高齢者には安心を～

◆ 地域の課題

佐治町の人口は 20 年間で約 1,405 人、率にして 50%近く減少し、現在では約 1,511 人となっています。また、65 才以上の高齢化率も 57%に達し、過疎と少子高齢化が突出している地域となっています。地域活動への関心低下、集落機能の低下、担い手不足など数々の課題を抱えています。公共交通機関が少なく買い物や通院の課題、耕作放棄が増え獣害に対する課題、働ける場所が無く若い世代が町外へ出て保育園は休園となっています。

◆ 主な活動内容

〇集落の公民館や記念ホール、体育館などを会場にボッチャ大会、ものづくり教室、七夕の飾り付け、クリスマスリース作り、などの各種セミナーや講演会、地域の園芸を利用しての寄せ植え教室、地元の神社調査や古い山城散策、門松作りなどを行いました。

〇地域の人に先生になってもらうことで、学校の授業だけでは体験できない学習を数多く行うことができました。地域全体で子どもを見守り育てることで、より豊かな能力、人間力を身につけ成長する手助けになっています。また、普段学校に行くことのない地域の方にとっても、佐治の子どもたちを知る機会になっています。毎月行っている小学校に地域の方が伺うあいさつ運動や、小学校運動会に参加したり、とんど焼きなどを児童、地域の方と一緒になって行いました。

〇地域が一体となった環境整備、景観形成の実現を目的に、花だんや道路への植え付け作業、季節ごとの寄せ植えを行い、佐治を訪れる人達のためだけではなく、わたしたちの町の魅力を生かした景観づくりに取り組み、地域に愛着を持ち、生き甲斐づくりになってもらえるよう活動してます。

〇地域の方からの意見を参考に 2 か月に一度実施するサロン事業では、マイクロバスを利用して県内の施設を地域の方たちと一緒に訪れたり、昔遊びや、地元に伝わる民話、集まってゲームをして食事をとるなど、高齢者が孤立することの無いよう福祉の向上を考えています。

◆ 今後の計画

地域組織支援モデル事業一括交付金を受け、地区公民館とまちづくり協議会が一体となりました。地域づくりと社会教育を連動させた事業を展開していきたいと考えます。

【健康・福祉部】　(1) 高齢者ふれあい隊「世代間交流」 (2) 子ども見守り隊「安全・支援」

【文化・スポーツ部】　(1) 伝統文化芸能サミット「文化活動」 (2) スポーツ MUSUBI 隊「体育活動」
(3) みんなと学び隊「青少年育成活動」

【地域・環境部】　(1) きれいな佐治を取り戻す計画「環境・美化活動」
(2) みんなでできる防犯・防災対策「防災等支援活動」 (3) 地域活性化活動

【広報部】　(1) まちづくり協議会新聞「ええさじかげん」の発行　(2) ブログの発信

【公民館事業部】　(1) 生涯学習の啓発と実施　(2) 公民館だより発行

宝木地区

宝木地区まちづくり協議会

会　　長	原　克 栄	所在地	鳥取市気高町宝木 904
事務局長	吉田　和行	TEL/FAX	0857-82-2407　/ 0857-82-2417
設立年月日	平成 20 年 11 月 19 日	Mail	cc-hogi@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	489 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/hogi-1
組織構成	防災防犯、ふれあい市推進、桜土手整備、貝がら節踊り推進、同窓会推進、 アーカイブ保存、たより啓発、健康を考える会推進　子どもきずな推進		

地域コミュニティ計画　『宝木地区まちづくり協議会　地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 22 年 2 月 25 日（平成 29 年 4 月計画改訂）
- 支援宣言　平成 22 年 6 月 1 日
- 目　　標

1 宝木地区自主防災連絡協議会と連携した、地区防災活動にて共助社会を目指す。
2 野菜を中心とした地産地消の推奨、地域住民のふれあいの場の提供。
3 植樹を行った、河内川沿いの桜の管理。
4 貝がら節まつり一斉踊りに参加し、部落内の一体感、部落間の連帯意識の向上をめざし、親睦をはかる。宝木地区の存在感の向上。
5 21 歳の宝木小学校卒業生による同窓会を企画開催し、対象者に地域の良さを感じ、愛着の醸成を支援する。
6 宝木地区の過去・現在の写真をデジタル保存し、地区風景・建物等のアーカイブを蓄積する。蓄積写真は文化祭等で住民に公開。
7 まちづくり協議会の活動を知っていただく。（全戸、通勤通学者等へのチラシ配布）
8 地区民の健康について考え、生活習慣病に向き合うまちづくりを目指す。
9 子どもたちの体験活動のお手伝いのため、学校や公民館の事業や行事のお手伝いの要請があった時の人材確保。
10 「宝木っ子まつり」や「宝木地区文化祭」等、宝木地区公民館と共同開催する。

◆ 地域の課題

地域の課題に基づき、事業を推進するための委員会を設けて、事業を展開しており、その委員会についても改廃新設できるようになっています。
会の名称は「宝木地区まちづくり協議会」とし、略称である「コミネット宝木」は、必要に応じて使用する事とした

◆ 主な活動内容（地域の課題に基づいた委員会により活動）

（1）防災防犯委員会：宝木地区全集落を対象とした「宝木地区　防災防犯訓練」を開催。
（2）ふれあい市推進委員会：野菜を中心とした地産地消の推奨、地域住民のふれあれいの場を提供。ふれあい市の開催。
（3）桜土手整備委員会：河内川沿いの桜土手草刈り及び桜の管理。
（4）貝がら節踊り推進委員会：「宝木地区まちづくり協議会」連として、参加者による練習及び貝がら節まつり一斉踊りに参加。
（5）同窓会推進委員会：宝木小学校卒業生（21 歳）による同窓会を企画・開催。
（6）アーカイブ保存委員会：住民から古い宝木地区の写真を借用し、デジタル保存。文化祭等で公開。
（7）たより啓発委員会：コミネットだよりを編集作成し、全戸配布。宝木駅利用者に配布し啓発活動
（8）健康を考える会推進委員会：集団検診啓発・運動習慣・食育の推進・広報誌・ﾁｬﾚﾝｼﾞｶｰﾄﾞ他
（9）子どもきずな推進委員会：学校や公民館の事業や行事のお手伝いの要請があった時の人材の確保
（10）「宝木地区文化祭」実行委員として、役員が参加し、宝木地区公民館と共催。
（11）「宝木っ子まつり」実行委員として、役員が参加し、宝木地区公民館及び宝木ふれまちと共催。

◆ 今後の計画

（1）防災防犯委員会：宝木地区自主防災会連絡協議会と連携した地区防災・防犯活動、防災防犯訓練の開催。
（2）ふれあい市推進委員会：ふれあい市の開催。
（3）桜土手整備委員会：河内川土手の桜の管理。
（4）貝がら節踊り推進委員会：「貝殻節まつり」一斉踊りへの参加。（宝木地区まちづくり協議会連）
（5）同窓会推進委員会：21 歳の宝木小学校卒業生による同窓会の開催。
（6）アーカイブ保存委員会：宝木地区の建物風景等の過去・現在写真を収集し、記録に残し地区住民へ公開。
（7）たより啓発委員会：宝木地区まちづくり協議会機関紙（たより）発行・全戸配布。宝木駅利用者へ配布
（8）健康を考える会推進：健康を考える会を開催し、地区民のため健康に関する事業を計画し行う。
（9）子どもきずな推進：学校や公民館の事業や行事のお手伝いの要請があった時の人材の確保
（10）その他：宝木っ子まつり、宝木地区文化祭の実行委員として役員が参加し共催。
（11）その他：コミュニティ充実のための事業。

浜村地区

きらり☆浜村まちづくり協議会

会　　長	地原　伸	所在地	鳥取市気高町浜村 8-4
事務局長	木下　公明	TEL/FAX	0857-82-6830　/ 0857-82-1942
設立年月日	平成 21 年 5 月 14 日	Mail	cc-hamamura@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,843 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/hamamura-1
組織構成	文化体育部・環境福祉部・観光経済部・啓発部		

地域コミュニティ計画　『浜村地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 23 年 3 月 31 日（平成 28 年 7 月 1 日第 2 期計画　改訂）
- 支援宣言　平成 24 年 8 月 27 日
- 目　　標　地域住民同士の横のつながりをつくり、人づくり、まちづくりに貢献する。

◆ 地域の課題

浜村地区は、集落によって若者や高齢者の割合に差があります。地区外からの人が増えた分譲地などでは、隣近所との付き合いが薄く、それ以外の集落は高齢者の一人暮らしも多くみられ、防災の面でもいざ災害があった時に誰が連れ出すのかなどの課題があります。また、地区内にある「貝がら節の里ヤサホーパーク」は、足湯もあり県内外から多くの利用者がありますが、維持管理にご協力いただける方が少ないことや、利用者のマナーや意識についても考える必要があります。

このため、住民同士の関係づくり、きっかけづくりの「人づくり」が課題です。

◆ 主な活動内容

○環境整備事業

・「貝がら節の里ヤサホーパーク」を中心に、公園内の足湯清掃、多目的広場芝生の維持管理、花植えなど実施

・ハッピースマイルガーデン維持管理。（花植え、看板設置など）イルミネーション設置

○防災への取り組み事業・・・浜村地区自主防災会連絡協議会　防災訓練共催

○貝がら節と浜村温泉の活性化事業・・・貝がら節の資料展示。貝がら節まつり。PR 活動。

○福祉事業・・・健康ウォーキング開催

○啓発事業・・・活動たより発行。ホームページ、インスタグラム、フェイスブック更新。パンフレット作成

○地域活性化・賑わいの創出まちづくり事業

・浜村地区町民運動会、浜村地区文化祭、しょうがぽかぽかフェスタ、ジュニアリーダー育成

今後の計画

○地域の活性化に向けて、浜村地区町民大運動会等への協力。

○賑わいの創出まちづくり事業として、地域と密着した各種イベント（しょうがぽかぽかフェスタなど）参加。

○環境整備事業として、ヤサホーパークの足湯清掃・環境整備、花植え、多目的広場の維持管理。ハッピースマイルガーデン維持管理。

○防災への取り組みとして、浜村地区自主防災会連絡協議会　防災訓練　共催。

○貝がら節と浜村温泉の活性化事業として、貝がら節まつり協力、貝がら節と浜村温泉のＰＲ活動、貝がら節資料展示。

○広報活動として、活動だよりの発行、ホームページ・フェイスブックの更新、地区内外へのＰＲ活動。

○まちづくり協議会全体の取り組みとして、浜村地区文化祭開催。

今年度も、ジュニアリーダーの学生たちと連携をとり、地域住民の憩いの場として、住民同士のつながりをつくるきっかけとなる活動をしていきたいと考えています。

酒津地区

酒津地区まちづくり協議会

会　　長	河根　裕二	所在地	鳥取市気高町酒津 359-1
事務局長	山下　文人	TEL/FAX	0857-82-2990　/ 0857-82-3030
設立年月日	平成 22 年 4 月 24 日	Mail	cc-sakenotsu@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	１４９世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/sakenotsu-1
組織構成	生活環境部、防災防犯部、教育文化部、健康福祉部、総務広報部		

地域コミュニティ計画　『酒津まちづくり計画』

- 策定時期　平成 23 年 3 月 31 日
- 支援宣言　平成 23 年 7 月 21 日
- 目　　標　地域を愛する心を養い、住民が互いに支えあい、明るく、美しい元気な酒津をめざす

◆ 地域の課題

平成２３年の活動開始から１５年が経過し、人口も年齢構成も大きく変化してきたことで、当然、地域の課題も変化してきております。従って、従来とは違う目標設定・組織改編が必要ではないかと考えております。

◆ 主な活動内容

（１）環境美化活動の推進（生活環境部）

・樽谷坂、公園等の維持管理（ごみ拾い、草刈・草取り）
・樽谷坂花壇の維持管理（苗木の植え付け、水やり、草取り）
・芝生広場の維持管理等（芝刈り、土補充、肥料散布、水やり、手入れ、芝刈機整備）

（２）災害に強い安心・安全なまちづくり（防災防犯部）

・防災（消火）訓練、避難訓練の実施、全戸対象
・消防ホース切替　・災害時避難所対応

（３）伝統文化を残す・子どもが健やかに育つまちづくり（教育文化部）

・こいのぼり設置　・水鉄砲大会
・酒津納涼祭協賛（舞台の土台、照明器具、発電機、レンタル料補助）・酒津トンドウの継承（飾り編み協力）

（４）健康で楽しく暮らせるまちづくり（健康福祉部）

・健康づくり教室　グラウンドゴルフ大会の開催年２回（７月・３月）
　毎月第２水曜日さけのつ元気塾、毎月第３水曜日マグネットダーツ
・健康講演会の開催　11 月
・健康チェック　健康診断受診の促進、体重計・血圧計の利用促進

（５）広報活動まち協だより発行　（６月・９月・12 月・３月）で事業内容、活動状況の住民への周知徹底

ホームページの刷新・更新（地区外への情報発信）

◆ 今後の計画

○生活環境部：継続展開の中で、美化範囲を広げ、美化意識、モラルの向上に取り組みます。
○防災防犯部：特に高齢者、子どもを重視し、災害発生時の安全・安心づくりに取り組みます。
○教育文化部：少子高齢化の中で地域の伝統が継承されるよう保存の取り組みと、他への積極ＰＲを図ります。
○健康福祉部：健康診断受診の促進と地域のみんなが楽しく健康づくり（毎月設定）が行える活動をすすめます。

逢坂地区

逢坂むらづくり協議会

会　　長	原田　信章	所在地	鳥取市気高町山宮 637-4
事務局長	山根　啓嗣	TEL/FAX	0857-84-2455　/ 0857-84-2465
設立年月日	平成 21 年 2 月 5 日	Mail	cc-osaka@ it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	270 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/osaka-1
組織構成	総務企画部、協育共生部、地域再生部、交流事業部		

地域コミュニティ計画　『逢坂むらづくり計画』

- 策定時期　平成 22 年 2 月 14 日（令和４年３月２６日　改訂）
- 支援宣言　平成 22 年 6 月 1 日
- 目　　標　安全・安心で心豊かに暮らせる住みよいむらづくりを推進するため、
  地域の身近な課題を把握し、その解決に向けて活動すること。

◆ 地域の課題

地域住民の高齢化、人口減少が徐々に進むことによる、遊休農地や空き家の増加。
若い人が集まる機会が少なく、地域住民による地域活性化が難しい状況にある。
気高循環バスの利用率が低く、地域交通運行継続に向けた取り組みが緊急の課題である。
旧逢坂小学校の活用方法

◆ 主な活動内容

令和７年度活動

公民館部　　小学校と合同で地区運動会（半日開催）、公民館まつりを実施。
他の事業も部会間の連携調整をとりながら実施。

総務部　　会報発行。運営委員会（区長会）との意見交換。防災訓練、視察研修。ホームページの作成。
地域交通の在り方検討。Tokotodesing 合同会社との連携により、地域課題解決のための具体的方策を企画・実施。今後の小学校の在り方を検討し、支所・小学校等と協議を重ね浜村小への先行編入が決定。

地域再生部　芝桜の経過維持。芝桜の補植、草刈り。キノコ植菌体験。風力発電事業中止要請。事業中止決定。

協育・共生部　放課後子ども教室。子ども秋祭りの実施。地元料理の伝承。幅広い世代交流（小学生との交流）。

えにし部　　鳥取大学生・留学生との交流を通して地域集落の活性化に寄与。写真展の開催で逢坂の魅力を発信。
鷲峯山麓マラソン大会への協力。小学校と共催で野菜の販売。公民館まつりにおける『いきいき市場』の開催。

逢坂むらづくり計画に基づく事業を更に拡充、工夫し事業に取り組んでいます。逢坂を考える会では、地区の課題・活性化について講演会を行い、小学校 PTA 奉仕作業への協力、グラウンドの整備、環境美化等、地域活動の中心的役割を果たしました。

◆ 今後の計画

令和８年度から、新組織として活動することになりました。 今まで以上に逢坂むらづくり協議会が地域活性化のため地域住民の中心となり、伝統・文化の継承と地区内の潜在的財産、魅力を大いにＰＲし、地域の魅力を顕在化する取り組みを展開することを計画しています。

瑞穂地区

瑞穂地区まちづくり協議会

会　　長	中原　亘	所在地	鳥取市気高町下坂本 48-4
事務局長	堀尾　久	TEL/FAX	0857-82-2206　/ 0857-82-2262
設立年月日	平成 20 年 12 月 20 日	Mail	cc-mizuho@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	449 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/mizuho-1
組織構成	総務環境部会、健康福祉部会、地域文化部会、体育振興部会、公民館事業部会		

地域コミュニティ計画　『瑞穂まちづくり計画』

- 策定時期　平成 22 年 4 月 24 日（令和 5 年 4 月 1 日　第 2 期計画　改訂）
- 支援宣言　平成 22 年 7 月 15 日
- 目　　標　1 環境保護と安心安全に暮らせるまちづくり　2 ふれあい支えあい思いやりのあるまちづくり
  3 個性と協調性が活きるまちづくり　4 健やかで活気あふれるまちづくり
  5 集いあい、学びあい、つながるまちづくり　6 何でも話し合え、実現に向けて取り組めるまちづくり

◆ 地域の課題

瑞穂地区では、公民館に隣接する小学校の統廃合が決まっています。地域に学校がなくなることで地域と子どもたちの関係、またその保護者との繋がりも希薄になり、地域コミュニティの衰退が懸念されます。このことを地域の重要課題と考え、小学生だけではなく、中学生の活躍できる場を作り、地域の子どもたちを巻き込んだ取り組みが必要と考えます。そのためには、学校との連携が不可欠です。また、幅広い世代からアイディアを聞きながら、廃校になった施設の利活用について今から考え、地域を盛り上げていく必要があります。

◆ 主な活動内容

① 個性と協調性が活きるまちづくり事業

・次世代への伝統文化・行事の継承：人口減少、また、日々の生活が便利になったことで、地域の文化行事、季節の行事などが簡素化され、季節感を感じる機会が少なくなっています。そこで、「名月を愛でる会」、「ちまき作り」、「節分」などを事業で発信することで、若い世代や子どもたちも、地域・文化を知り、関心を持ってもらうことで瑞穂への愛着を持ち、伝統文化を大切にする地域に繋げています。

② ふれあい支えあい思いやりのあるまちづくり事業

・健康づくりの意識の向上や取り組みの推進：一昨年から年間通して行っていた「ヨガ教室」が、昨年度末で公民館の手から離れ、住民主体のサークル活動に移行することができました。これに代わる事業として、今年度より「健康マージャン」を毎月 1 回提供し、男女問わず、誰もが公民館に寄って人とふれあうことで仲間づくり、健康づくりの場にしたいと考えます。また、年間通して行っている「しゃんしゃん体操」では、会場を公民館だけでなく集落の集会所に出向いて行うことで、高齢の方も参加しやすい機会を提供します。

③ 集いあい、学びあい、つながるまちづくり事業

・青少年育成につなげる地域・家庭づくりの推進：子どもの事業に数多く取り組んでいます。特に「通学合宿」では、公民館を宿泊場所とし、地域ボランティアの協力を得ながら 2 泊 3 日、公民館から隣接する小学校へ登校します。この他、子どもを対象とした事業では、公民館・地域・家庭・学校が相互に連携し合って、青少年の健全な育成に取り組んでいます。

◆ 今後の計画

小学校 5 年生の学習の中で連携して、地域の福祉と防災学習について計画しています。5 年生が様々な立場の人たちの思いや困りごとについて知り、災害時にはどのような支援や配慮が必要なのかを地域の人と一緒に考えます。また、大人もこの学びを通して防災意識を高め、災害時の避難行動のあり方について考える機会とします。

鹿野地区

鹿野まち普請の会

会　　長	森 村 繁 一	所在地	鳥取市鹿野町鹿野 342
事務局長	村 上 光 重	TEL/FAX	0857-38-0022 / 0857-84-2191
設立年月日	平成 21 年 3 月 1 日	Mail	cc-shikano@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	５８１世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/shikano-1
組織構成	運営委員会（会長、副会長 2 名、幹事 7 名、監事 2 名、事務局）		

地域コミュニティ計画　『鹿野まちづくり計画（四季薫るまち鹿野）』

- 策定時期　平成 22 年 3 月 31 日
- 支援宣言　平成 22 年 6 月 2 日
- 目　　標

○歴史文化を大切にするまち　・風情のある街なみの整備　・改善活動の取組
・城山公園の清掃・管理の取組
・伝統文化の継承と新しい文化の創造の取組

○花あふれる美しいまち　・四季折々の花づくり推進の取組　・鹿野景観づくり・維持、活用の取組

○人にやさしいまち　・集落における福祉活動の取組　・こころ豊かな子どもを育てる家庭づくりの取組

○環境にやさしいまち　・農地・山林・河川の荒廃防止の取組
・エコ活動の取組　・脱炭素に向けた環境視察

○健康で笑顔あふれるまち　・あいさつ運動の取組　・健康づくりの取組

○安全・安心なまち　・交通安全対策の取組　・防災・防犯対策の取組
・子どもや高齢者にやさしいまちづくりの取組

◆ 地域の課題

鹿野町の高齢化率は、町全体で４０％を超えている。鹿野地区は、そこまでは至っていないが、年々増加の一途をたどっている。それに伴って空き家の増加が課題の一つになっている。また、高齢者だけの世帯数が増加し、空き家予備軍化している。当会の会員団体に「空き家」対策を行っている団体があるが、今後とも当団体と行政が力を合わせてこの課題に取り組むことを支援したい。合わせて、魅力ある地域づくりを行い、若者の定着率を増やすことも課題の一つである。

また、公共バスの利用者減に伴い、現在共助バスを運行しているが、その運転者不足からその維持をすることに困難さが生じており、高齢者の免許証返納問題と合わせて、高齢者の移動をどうするかも課題の一つになっている。地区内にあった「歯科医院」が閉院した、「内科医院」はまだ営業しているが、今後地区内に病院がなくなることも予想される。これも課題の一つである。

◆ 主な活動内容

○安心安全のまちづくり活動…あいさつ運動標語の「のぼり旗」設置

○集落・公園周景整備活動…竹プランターの植栽、城山・旧鹿野小周辺の清掃活動、環境整備事業など

○活性化イベント…蓮ウォーク・蓮フェスタ、鹿野学講座、土曜夜市、旅するまちづくり合宿、虚無僧行脚など

○遊休農地活用事業…ジャガイモ植えと収穫、さつまいも植えと収穫、など

○高齢者交流会の実施…鹿の名画座上映会、健康ゲーム体験会・機能改善健康教室の開催など

○集落防災計画…自主防災会現地研修会、各集落の防災訓練の実施、子ども防災デイキャンプなど

◆ 今後の計画

鹿野まちづくり計画に基づき、地区民の安全・安心のまちづくりを取り組みの機軸としながら、歴史と文化を大切にした賑わいのあるまちづくりを進めるため、活発な活動をしている各団体と共催・支援活動事業を行います。

設立から１７年経過し、今年度は「まちづくり計画」の見直しをするべくアンケート調査を実施します。その結果を活かし、「四季薫るまち鹿野」づくりの高みを目指した活動を行っていきます。HP 等を利用した情報発信に努めます。

勝谷地区

勝谷元気づくりの会

会　　長	長谷川　誠一	所在地	鳥取市鹿野町宮方 147-1
事務局長	徳岡　義広	TEL/FAX	0857-84-2459　/ 0857-84-2460
設立年月日	平成 21 年 2 月 7 日	Mail	cc-katsutani@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	672 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/katsutani-1
組織構成	地域安全部会、地域文化部会、健康福祉部会、体育振興部会、生涯学習推進部会		

地域コミュニティ計画　『勝谷元気づくりの会コミュニティ計画』

- 策定時期　平成 21 年　8 月 22 日（平成 25 年 5 月　改訂）
- 支援宣言　平成 21 年 12 月 24 日
- 目　　標

勝谷の魅力再発見

～勝谷のひと・こと・ものを通して、もっと元気に！～

〇地元の魅力を再発見する活動を通して、一層の地元愛を育む

〇幅広い世代の地域住民が共に活動することを通して、地域で人を育てる気運をさらに高める

◆ 地域の課題

勝谷地区には、昭和 30 年代に湧出した鹿野温泉があり、宅地開発や医療・福祉・保健施設等が多く立地しています。また近年、地区内に山陰道 IC が整備されたこともあり、転入者の増加や新たな事業所の進出も続き、地域の環境は大きく変わりつつあります。これらを踏まえ、共に勝谷地区に暮らす多彩な人々が交流し繋がり合い、心豊かに生きて行かれる一層魅力ある地域づくりを着実に推進していくことが重要です。

◆ 主な活動内容

①環境整備と安全で安心なまちづくり事業

・あいさつ運動、防災・防犯活動、芝生広場・自然景観の美化維持、子ども果樹園整備

②歴史と文化を大切にし、ふるさとを思いやるまちづくり事業

・勝谷ウォーキング、納涼祭、勝谷元気まつり、勝谷を考える日

③支え合いによる健康と福祉のまちづくり事業

・健康づくり講座、福祉施設等との交流、敬老祝賀会

④健やかで活気あふれるまちづくり事業

・地区大運動会、各種スポーツ大会の開催

⑤集いあい学びあい、地域を担うひとづくり事業

・子ども塾、やってみよう!で-、各種ものづくり等生涯学習講座、子ども会育成事業

◆ 今後の計画

勝谷地区は、温泉をはじめとする豊かな自然や史跡・多彩な事業所などの社会資源、様々な知識や技術を有する「ひと」にも恵まれた地域です。

令和 7 年度に勝谷元気づくりの会と勝谷地区公民館運営委員会・勝谷地区体育会を統合、一体化して新しい勝谷元気づくりの会がスタートしました。

(新生)勝谷元気づくりの会は、地域住民の積極的な参画が得られる一層の環境整備に努め、多くの意見・アイデアを尊重し、住民主体の元気な地域づくりを目指します。

小鷲河地区

小鷲河ふる里をまもる会

会　　長	田中　義宏	所在地	鳥取市鹿野小別所 351-3
事務局長	横山　　茂	TEL/FAX	0857-84-2054　/ 0857-84-2060
設立年月日	平成 21 年 3 月 26 日	Mail	cc-kowashigawa@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	173 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/kowashigawa-1
組織構成	安全部会、環境部会、事業部会		

地域コミュニティ計画　『小鷲河地区まちづくり計画』

- 策定時期　平成 22 年 4 月 27 日
- 支援宣言　平成 22 年 7 月 15 日
- 目　　標　楽しい、おもしろい、美しいふる里をつくる

◆ 地域の課題

小鷲河地区は人口減少、高齢化が進んでおり、それに伴いさまざまな地域課題が浮き彫りになっています。

各種団体活動の維持、空き家問題、農業の担い手不足などが挙げられます。また数年前に民間バス路線が廃止になったことにより、これからの公共交通のあり方についても考えていかなければならないところです。

また、中山間地に位置する小鷲河地区は大雨などによる土砂災害地域が多く、冬は降雪量も多いところです。豊かな自然に囲まれている反面、イノシシ、シカなどによる獣害も多く発生しています。

◆ 主な活動内容

事業①　小鷲河地区防災運動会

人口減少、高齢化の影響で従来通りの運動会実施が難しくなり、種目等の見直しを考えていたところ、「防災運動会」として新たに実施することに。少人数、高齢者でも参加しやすく防災訓練の要素を取り入れた内容にしたところ、参加しやすくなった・防災意識が高まったとの声をいただき、令和５年度から継続して実施しています。

事業②　小鷲河生活交通プロジェクト

当地区では公共交通が事業撤退し、現在は循環バスが走行しています。今後循環バスが無くなった時の事を想定して、地域の足をどのように支えるかを検討する生活交通を考える会「小鷲河生活交通プロジェクト」を立ち上ました。現在メンバーは１２名。随時地区の生活交通について考える会を開催し、小鷲河地区にとって望ましい生活交通の仕組みを検討しています。

事業③　河内川の立木伐採

近年、豪雨などによる自然災害の大規模化に備え、河川の氾濫を防ぐため、河川敷の立木伐採を実施しています。

一昨年度立木伐採のボランティアを募ったところ、18 名の応募がありました。年 2～3 回程度、増水時に危険な立木を伐採し、防災および景観維持の活動を実施しています。鳥取県の参画型ボランティアの団体登録もして、行政の力も借りながら取り組んでいます。

今後の計画

様々な地域課題を抱える地区ではありますが、課題に向き合いながら幅広い世代からの意見も取り入れて事業計画を立て、開催事業を通じて地域住民同士の交流を広げ、問題解決に向けた取り組みを実施します。

少子高齢化、人口減少などで地区内の団体等も減少傾向にあり、事業の継続が困難なこともありますが、実施方法や内容などを見直しつつ「楽しい、おもしろい、美しいふる里」作りへ向けて行政、民間の手も借りながら持続可能なまちづくりに取り組みます。

日置地区

日置地区まちづくり協議会

会　　長	長谷川　具章	所在地	鳥取市青谷町山根 218
事務局長	池田　悦朗	TEL/FAX	0857-86-0836　/ 0857-86-0837
設立年月日	平成 20 年 11 月 25 日	Mail	cc-hioki@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	350 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/hioki-1
組織構成	防災環境部会、健康福祉部会、にぎわいづくり部会、公民館事業部会		

地域コミュニティ計画　『日置地区まちづくり計画』

- 策定時期　平成 22 年 12 月 27 日（令和 7 年 5 月 8 日　改定）
- 支援宣言　平成 23 年 7 月 21 日
- 目　　標　本会は日置地区を人に優しく豊かで住みやすい地域にするために、行政と連携を図りながら、その推進を図ることを目的とする。

◆ 地域の課題

日置地区の小学生は、４集落のうち３集落にしかおらず、それも１３ 名。高齢化率は５６%を超え、少子高齢化は年々進んできている。昼間人口は激減し、防災体制に不安を抱える住民も多いと思われる。生活交通に関しては、路線バスの廃止を受けて公共バスの運行が始まったが、将来的には共助交通への移行を地域で考えて進めていかなければと思う。

◆ 主な活動内容

事業①防災活動(防災環境部会)

毎年、地区の総合防災訓練を行っている。防災研修として、救急救命講習、心肺蘇生、AED 操作、防災指導員による「日置で災害が起こった時」の講話、非常食（アルファ化米ごはん）体験、地域住民の放水消火訓練を行った。

また、鳥取市防災リーダー養成研修の受講に対してまち協が資金援助し、令和５年３名、令和６年１名の防災リーダーが日置地区に誕生した。今後の防災活動に活躍を期待したい。

事業②環境整備（防災環境部会）

５・７・９月の環境整備、日置川清掃、古紙・アルミ缶回収ボックスの利用促進と周辺の継続的な環境整備を行った。不法投棄監視活動の強化を行った。

事業③健康づくり事業の推進（健康福祉部会）

合同ラジオ体操、健康づくり講座、健康づくりウォーキングを柱に「健康寿命を延ばす」事業を継続している。ウォーキングコースにベンチを設置した。ニュースポーツ（ボッチャ、モルック等）に取り組んでいる。気功教室、健康マージャンを行った。

事業④納涼祭、収穫祭等の開催（にぎわいづくり部会）

納涼祭（7 月)と収穫祭（11 月）で地区に賑わいを創成し、地区生産の野菜、手作り加工品を販売するひおき市を開いた。夏季の竹灯籠づくり、冬季のイリミネーションの点灯を行った。

事業⑤育成部事業の開催（公民館事業部会）

スキー教室を開催した。わしの子農園でジャガイモ、さつまいもの栽培を行った。わしの子楽団にて楽器演奏を行った

今後の計画

◇防災環境部会：集落の老人クラブに参加してもらい効率よい環境整備を行う。防災リーダーの育成。
◇健康福祉部会：集落にて健康づくり出前教室を開催する。
◇にぎわいづくり部会：納涼祭、収穫祭の開催。
◇公民館事業部会：わしの子（日置地区小学生）事業の開催。
◇共助交通の先進地視察および研修会など計画。◇敬老会、運動会、日置を語る会の開催。

日置谷地区

日置谷幸せの里づくり協議会

会　　長	中島　規夫	所在地	鳥取市青谷町奥崎 384-1
事務局長	山根　加恵	TEL/FAX	0857-85-1453　/ 0857-85-1466
設立年月日	平成 20 年 12 月 7 日	Mail	cc-hiokidani@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	235 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/hiokidani-1
組織構成	総務部、区長会、自主防災会、体育会、育成部、老人クラブ、景観づくり部、人権啓発推進部、健康づくり推進員会、日置谷地区共助交通検討会		

地域コミュニティ計画　『日置谷幸せの里づくり計画』

- 策定時期　平成 22 年 4 月 25 日（令和 7 年 4 月 17 日第 2 期計画　改訂）
- 支援宣言　平成 22 年 6 月 2 日
- 目　　標　1 安心と安全に包まれ、穏やかに暮らせる“里”づくり　4 美しい自然と魅力にあふれた“里”づくり
  2 子どもからお年寄りまでみんなが支え合う“里”づくり　5 住民一人一人が参加する“里”づくり
  3 歳を重ねても健康で暮らせる“里”づくり

◆ 地域の課題

日置谷地区は、高齢化率が 42%であり、これからも高まることが予想されています。地区活動の役員の担い手も高齢化が進んでいますが、60 歳過ぎても仕事に従事する方が多く、地区活動に参加する人が減ってきているのが現状です。

子どもの数が少なくなり、各町内会単位での子ども会の活動が出来なくなって、地区の子ども同士の交流の機会が減ってきています。子どもたちが学年を超えて交流できる事業を行いたいと考えています。

◆ 主な活動内容

事業①　地区文化祭の開催

地区文化祭は、幸せの里づくり協議会と地区公民館が一丸となり多くの方が関わって開催する一大行事ですが、コロナ禍のため令和 2 年度から 5 年度まで中止していました。新型コロナが第 5 類になり、地域の一体感が感じられる場なので再開してほしいとの声が多く寄せられたため、令和 6 年度より再開しました。作品展示は公民館で、農産物や模擬店・健康コーナー・演芸は体育館で行いますが、11 月第 2 日曜日は地域の老若男女が集い、作品展示を鑑賞し演芸を楽しんで親睦と交流を深める 1 日となっています。

事業②　防災活動

昨年見直した危険個所を地図に落とし込んだ自主防災マップが完成し各戸配布しました。また今年度は、9 月に予定されている鳥取市総合防災訓練の会場が青谷町なので、日置谷地区でも同時に避難訓練を行い、地区としてまとまって会場まで避難する計画を立てています。

事業③　生涯学習事業と連携した育成部会活動

地区の子ども同士の交流の機会が減ってきているという課題を解決するため、「大人と子どものふれあい事業」で行う行事に育成部全体で関わってもらう取り組みを行っています。バス研修やスイーツづくり、魚釣り、クリスマス会など育成部会で参加を呼びかけ取りまとめてもらっています。今後も連携を継続していきます。

◆ 今後の計画

令和 7 年度地域コミュニティ計画を見直し、各部会の計画目標を定めました。各部会の事業は、実施計画に基づき部会で話し合って決定しました。計画目標が明確になったことにより、事業計画が立てやすくなったと思います。これからも１０の部会が活発に活動し、住みやすい日置谷地区を作っていきます。

中郷地区

中郷地区まちづくり協議会

会　　長	青 木 一 雄	所在地	鳥取市青谷町亀尻 257
事務局長	嶋 本 達 夫	TEL/FAX	0857-85-0219 / 0857-85-0240
設立年月日	平成 20 年 10 月 18 日	Mail	cc-chugo@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	340 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/chugo-1
組織構成	総務部会、福祉部会、文化交流部会、健康体育部会、防犯防災部会		

地域コミュニティ計画　『中郷地区まちづくり計画』

- 策定時期　平成 21 年 11 月 27 日
- 支援宣言　平成 21 年 12 月 24 日
- 目　　標　みんなでささえあい　思いやり豊かで安全なまちづくり

◆ 地域の課題

中郷地区は、まちづくり協議会委員・各種団体の委員など毎年各集落から選出されるため、１年で交代しています。そのため、今までの事業を踏まえて事業を見直していくということが困難な状況です。

また、中郷地区内の集落間の世帯数や年代に格差が大きいため、統一的な取り組みが出来ていません。高齢者ばかりになった集落は委員を選出することも難しい状況です。少子高齢化による人口減少で集落間のかかわりが希薄になりつつあります。

◆ 主な活動内容

○中郷地区敬老会

地区の７５歳以上の方をお招きし、地区内外の有志による演芸などを鑑賞していただき、地区内の人達との交流を深める中で人材資源の掘り起こしにも努めています。

○中郷地区大運動会

多くの皆さんのご尽力によって、小学校閉校後も保育園児から高年齢者まで一堂に集い、老若男女が個人競技や団体競技で楽しく交流を深めています。

○中郷まつり

人との出会い・ふれあいを大切に、地域の交流や親睦を深め、地域力の向上を図り活力ある「中郷づくり」を目的とし、併せて地域の皆さんの一年間の活動成果の発表の場として開催しています。

◆ 今後の計画

中郷地区では、地区公民館、駐車場、グラウンド、中郷庭園、体育館、体育館周辺について地区民の協力により整備し、その利用活用の拡大に努めていきます。

コロナ禍をきっかけに、事業の参加者数が減少傾向にあるので地区住民の意見をまちづくりに反映する仕組みを作り、以前のように活気溢れる中郷地区を目指して活動していきます。

取り組みの第一歩として、まちづくり協議会の部長・副部長を複数年受けていただき課題解決を進めています。

勝部地区

勝部地域まちづくり協議会

会　　長	北 村 立 幸	所在地	鳥取市青谷町紙屋 110
事務局長	中 林 圭 一	TEL/FAX	0857-87-0340 / 0857-87-0343
設立年月日	平成 21 年 1 月 20 日	Mail	cc-kachibe@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	195 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/kachibe-1
組織構成	防災環境部会、にぎわいづくり部会、健康福祉部会		

地域コミュニティ計画　『勝部地域まちづくり計画書』

- 策定時期　平成 21 年 5 月 20 日（令和８年１月改訂）
- 支援宣言　平成 21 年 12 月 24 日
- 目　　標　『ひとりひとりが生き生きとふれあい支え合って暮らすみんなのまち・かちべ』

◆ 地域の課題

中山間地域は、森林が多く空気が清らかな住みやすい環境であり、地域への愛着心が強く、伝統行事を通じて独自のコミュニティが形成されています。一方で、児童数の減少や高齢化の進行により過疎化が進んでおり、地域活動の担い手となる人材の不足が課題となっています。将来を見据えた地域コミュニティの維持・活性化が困難な状況です。

◆ 主な活動内容

事業①　防災訓練

豊かな自然を守り、安心・安全に暮らせる地域づくりを推進するため、防災訓練に取り組みます。防災訓練では、救急救命講習や防災資機材の整備を行い、災害時に適切な対応ができるよう地域住民の防災意識と防災力の向上を図ります。これらの活動を通じて、災害に強く、安心して暮らせる地域づくりを進めます。

事業②　マスのつかみ取り

思いを尊重し、人が集い、交流が広がる地域づくりを推進するため、かちべ伝承館と連携して「マスのつかみ取り」を開催します。地域内外から多くの方に参加いただける交流の機会を創出し、人と人とのつながりを深めるとともに、交流の輪が広がる地域づくりを進めます。

事業③　ふれあいグラウンドゴルフ大会

ふれあい、支えあい、心豊かに暮らせる地域づくりを推進するため、ふれあいグラウンドゴルフ大会を開催します。地域住民が気軽に参加できる交流の機会を設けることで、健康づくりや世代間交流を促進し、住民同士のつながりを深めます。これらの活動を通じて、支えあいながら安心して暮らせる地域づくりを進めます。

今後の計画

本年度は、改正後の規約に基づいた運用を継続し、適切な事業実施と円滑な組織運営に努めます。また、一括交付金制度については、今後の協議会運営に関わる重要な課題であることから、引き続き協議・検討を進めていきます。

青谷地区

青谷地区まちづくり協議会

会　　長	棚 田 美 紀 雄	所在地	鳥取市青谷町青谷 4082-1
事務局長	徳原　一実	TEL/FAX	0857-37-7420　/ 0857-85-0155
設立年月日	平成 20 年 12 月 25 日	Mail	cc- aoya@ it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	９４７世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/aoya-1
組織構成	地区安全部会、地区再生部会、健康・体育部会、福祉支援部会		

地域計画　『青谷地区まちづくり計画』

- 策定時期　平成 22 年 10 月 21 日
- 支援宣言　平成 22 年 12 月 10 日
- 目　　標　地区住民が安心して生き生きと暮らせ、地域のみんなで取り組むまちづくりを目指す。
  - ◎ 地区安全部会　安心して暮らせるまちづくり
  - ◎ 地区再生部会　地域の歴史文化を生かしたまちづくり
  - ◎ 健康・体育部会　みんなが健康で生き生きと暮らせるまちづくり
  - ◎ 福祉支援部会　みんなで助け合い、支え合う福祉のまちづくり

◆ 地域の課題

本地区は少子高齢化が著しく進行しており、地域の各種役員は高齢化している。同じ人が何年も同じ役を務めていることが多いため、事業の継続という面では何とかできているが、反面、時代の変化に応じて事業を新しく考えていくというような場面では、なかなか変わりにくいという傾向がある。

本地域には、県の施設「青谷かみじち史跡公園」があり、そこを使って地域を盛り上げようといろいろな団体が意欲的に取り組んでいるが、横のつながりが弱く、互いにどんなことをしているのかよく分かっていない面がある。

◆ 主な活動内容

事業①　安心・安全なまちづくりの一環として、早朝街頭指導、見廻りパトロール、防災講習会等を例年行っている。能登半島地震をきっかけにして、令和７年に安全マップを更新したので、今年度はその活用を促す。

事業②　地域に残る文化財の保存と活用の一環として、かみじち史跡公園の PR やかみじち関連事業でまちづくりに関わることについて、まちづくり協議会として参加する。また、昨年度実施した「長尾鼻と夏泊を楽しむ」事業をバージョンアップして実施する。

事業③　住民の健康推進のために現在ある事業は継続しつつ、のびのび健康教室やミニトランポリンを使った講習会を取り入れ、各年齢層の健康意識を高めるとともに実技講習を行う。運動会の種目を工夫して参加者を増やす。

事業④　支え合う雰囲気をつくるために、高齢者のフレイル予防に関する講習会を行い、体や脳の機能が低下しても、助け合い、支え合って楽しく生活できるような地区にする。また、敬老会に代わるイベントとして、昨年度初めて実施した福祉支援部会主催「シニアの集い」を、今年度はさらに充実させる。

◆ 今後の計画

「青谷かみじち史跡公園」に、県内外から多くの人が来館しているので、まちづくり協議会としても積極的に関わり、青谷の魅力を多くの人に広めたい。また、現在行っている事業も継続しつつ、下記の方針で青谷地区を盛り上げ、住んで楽しい青谷地区を目指したい。

①きれいな町であることをアピールするために、川や海、青谷地区全体をより一層きれいにする

②高齢化に対応するために、若い力、主に中学生や高校生、大学生（鳥大）をボランティアとして協力依頼する。

特に、中・高校生・大学生が企画の段階から参画することにより、自分の力で事業を動かす楽しさを味わうことで、将来青谷地区のまちづくりに積極的に関わろうとする人材に育てたい。

③他の部会や各団体等との横のつながりを重視して、総合的な全体構想の見えるまちづくりを目指す。